

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

1. 1 学生確保の見通し

(1) 入学定員設定の考え方

以下の2つの観点から入学定員を140名（地球システム科学科：40名，都市・交通デザイン学科：40名，材料デザイン工学科：60名）とする。

1) 効果的な学修を可能とするための定員設定

新学部における学部共通専門科目の「地域デザインPBL」（3年次，必修科目）では，3学科の混成である学生のグループをつくり，各領域における知見を活かすとともに，デザイン思考による過程（観察，分析，発想，試作，検証）を繰り返すことを実践し，具体的な課題の解決に取り組む演習であり，学生の課題解決能力を養成する演習を実施する。

本授業科目において，3学科混成によるチーム編成を前提とし，効果的なグループ討議を考慮した結果，1チーム7名程度が適当であると考えられる。専任教員1名当たり，グループ活動への充実した指導が可能となる範囲は2グループ程度であり，当該担当科目を指導できる教員体制は10名程度（3学科×3名及び全体総括1名）である。このことから，全体で20グループ程度（学生数140名前後）がこの授業の受入可能となるグループ数であり，新学部の入学定員についても140名程度が適切と考える。

2) 新分野の強化と見込み

新学部の地球システム科学科は理学部の地球科学科（入学定員40名）における教育研究実施状況に鑑み，入学定員を維持することとした。材料デザイン工学科は工学部の材料機能工学科（入学定員51名）からの移動を基盤とし，これに防災材料等の都市機能との連携に係る分野を強化するために専任教員を新規採用した。その結果，専任教員は材料デザイン工学科の設置時には13名から15名に増員した。このような専任教員の増員に従って，入学定員を60名に増加させることが適切と考える。

また，都市・交通デザイン学科は，学内資源の再構築により新たに設ける分野であること，実験や演習などを教育上多く含むこと，新学部全体の適切な入学定員数などに鑑み，入学定員を40名とすることとした。

(2) 定員充足の見込み

外部組織により，本学におけるこれまでの理工系入学実績を基に，主な学生募集エリアである新潟県，富山県，石川県，福井県，長野県，岐阜県，愛知県，三重県，京都府に所在する107の高校に依頼し，2年生14,978名を対象に調査を実施し，うち85校8,991名から有効回答を得た。

なお，アンケート実施時は，「地球システム科学科：40名」，「都市・交通デザイン学科：40名」，「材料デザイン工学科：70名」を想定してアンケートを実施したが，その後の学内検討を経て，材料デザイン工学科の学生定員を60名に変更している。以下のアンケート結果における倍率等は当初想定定の定員により算出されているが，実際には定員変更により，更に受験ニーズが向上すると考えられる。

表1 都市デザイン学部への受験意向と入学意向

	入学定員	受験意向者
都市デザイン学部	150名	1,493名

【都市デザイン学部受験意向者1,493名のうち】

	入学定員 (A)	入学意向者 (B)	B/A (想定倍率)
地球システム科学科	40名	379名 (25.4%)	9.5倍
都市・交通デザイン学科	40名	767名 (51.4%)	19.2倍
材料デザイン工学科	70名	263名 (17.6%)	3.8倍

※希望学科無回答4名を除く

※材料デザイン工学科の入学定員を60名として想定の倍率を算出すると、「約4.4倍」となる

表1に示すとおり、3学科への受験意向者(受験してみたい者)は、回答が得られた8,991名のうち、16.6%に当たる1,493名であった。このうち、より強く入学を希望する入学意向者(受験して入学を希望する者)の数を見ると、地球システム科学科で379名、都市・交通デザイン学科で767名、材料デザイン工学科で263名となっており、高校生のニーズが十分にあることがわかる。特に、都市・交通デザイン学科について、学科の内容と関連ある「理学(39.4%:212名/538名)」や「工学(54.1%:577名/1,066名)」に興味があるとした者以外に、「生活科学(64.6%:73名/113名)」や「芸術学(62.8%:103名/164名)」「経済・経営・商学(59.5%:72名/121名)」といった分野に興味を持つ者も多く(その他2学科における割合の3~9倍)、多様な領域を融合した学科の教育特色を反映しているといえる。

また、アンケート調査において都市デザイン学部の特色に対する魅力度を調査したところ、
 「A. <都市デザイン学部の教育の特徴①> 「地球科学」「材料」「都市」の専門知識に、芸術文化・社会系の知識を総合して、3学科が教育連携することで、自然を理解し、災害に強い安全・安心都市の創出と地域創生ができる人材を育成します。」……………魅力度 70.9%
 「B. <都市デザイン学部の教育の特徴②> 地域課題に即したフィールドワークなどの実践的教育により、地域社会を活性化できる人材、およびグローバル化に対応した国際水準の教育カリキュラム(JABEEプログラム)と徹底した英語教育を実施することで、海外でも活躍できる人材を育成します。」……………魅力度 69.0%
 と、高校生にとって魅力的な特色を有する学部であることが窺える。

今後、高校への広報等を強化し、新学部の魅力を十分に発信することによって、潜在的な志願者層を開拓するとともに、今回のアンケートを実施していない高校等全国を対象とすることにより、更なる志願者を確保することが可能であると考えられる。

以上のように、学生ニーズの現状や広報等の強化による学生確保の取組などから、入学定員140名を中長期的に確保することが可能である。

(3) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

【資料1 富山大学「都市デザイン学部」(仮称)設置に関するニーズ調査(高校生対象調査)】

【資料2 高校生対象 調査票】

【資料3 設置構想資料】

1) 調査概要

調査は外部機関に委託し、高校2年生を対象に、平成28年12月5日(月)～12月21日(水)の期間に郵送によって実施した。調査対象は、受験実績や入学実績を参考にして9県(新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府)の107高校14,978名を対象とした。その内、85校8,991名の有効回答を得た(有効回答率60.0%)。

2) 回答者の属性など

回答者の属性は、「男性」62.0%、「女性」37.6%、「公立」90.6%、「私立」9.4%、「文系クラス」4.8%、「理系クラス」87.9%、「コース選択はない」1.6%、「その他・無回答」が5.8%であった。このように、新学部の想定される受験層に近い構成になっており、その結果を客観的なデータとして活用ができる。

3) 調査結果

学科別に特色に対する魅力度と入学意向をみると、次のとおりである。なお、魅力度とは有効回答数に対して、「とても魅力を感じる」または「ある程度魅力を感じる」と回答した生徒の割合である。また、受験してみたい学科で、受験して合格したら入学したいと思う生徒の数を、入学意向者数とする。

<地球システム科学科の魅力度と入学意向>

地球の成り立ちや変動を学ぶとともに、高低差4,000mのユニークな環境を舞台として地域の自然を学びます。地球と地域の両方の視点から、安全・安心な社会に貢献できる人材を育成します。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・魅力度 66.5%

● 入学意向者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・379名

<都市・交通デザイン学科の魅力度と入学意向>

建設工学を基礎にして、デザインや経済などの幅広い知識を修得することにより、持続発展可能で災害に強い安全・安心な都市建設および都市・交通計画ができる国際性豊かな人材を育成します。また一級建築士の資格も目指すことができます。・・・・・・・・・・・・・・・・魅力度 72.1%

● 入学意向者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・767名

<材料デザイン工学科の魅力度と入学意向>

原子・分子から都市構造物に至るテラスケールレンジの視点で、未来社会の基盤材料をデザインし創り出すための科学・工学の教育・研究を行い、高度な専門知識をもって安全・安心の実現に貢献する国際性豊かな材料エンジニアを育成します。・・・・・・・・・・・・・・・・魅力度 68.5%

● 入学意向者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・263名

(4) 学生納付金の設定の考え方

本学の初年度納付額は、817,800円(授業料年額535,800円,入学料282,000円)で近隣の国立大学法人与同額である。

1. 2 学生確保に向けた具体的な取組状況（予定）

新学部設置の際には、次の取組を予定している。

1) 高校訪問

本学部の専任教員等が、富山県内はもとより東海北陸地区を中心に、高校を訪問し広報活動を行う。

2) オープンキャンパス

8月に開催するオープンキャンパスにおいて、新学部の広報を行う

3) ホームページやパンフレット等による広報

新学部の概要等に関するパンフレットなどの資料を作成し、全国的に関連する多くの高等学校に広報するとともに、新学部に関する情報を本学のウェブサイト上に公開する。

4) 県内高校長・進路指導教員等への説明

富山県内の高等学校校長・進路指導教員との意見交換を実施するとともに、新学部の広報を行う。

2. 人材需要の動向等社会の要請

2. 1 養成する人材像や教育研究上の目的

新学部は「自然科学と科学技術を基盤とし、社会科学の要素を加味した「自然災害の予測やリスク管理，社会基盤材料の開発，都市と交通の創造」に係わる特色ある国際水準の教育・研究を行い，デザイン思考を実践し得る創造力のある人材を育成し，地域や都市の創生と持続的発展を通じて，人間社会と自然環境とが共生する理想的な社会の実現に寄与する」ことを目的としている。

2. 2 養成する人材像に対する社会的ニーズの客観的な根拠

【資料4 富山大学「都市デザイン学部」（仮称）設置に関するニーズ調査（企業対象調査）】

【資料5 企業対象 調査票】

【設置構想資料・・・資料3と同じ】

1) 調査概要

調査は外部機関に委託し、企業を対象に、平成28年12月5日（月）～12月21日（水）の期間に郵送によって実施した。調査対象は、本学卒業生が就職している、又は就職先として想定される企業・団体を対象にして、41都道府県（北海道，青森県，岩手県，宮城県，秋田県，山形県，福島県，茨城県，栃木県，群馬県，埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県，新潟県，富山県，石川県，福井県，山梨県，長野県，岐阜県，静岡県，愛知県，三重県，滋賀県，京都府，大阪府，兵庫県，和歌山県，岡山県，広島県，山口県，徳島県，香川県，愛媛県，高知県，福岡県，佐賀県，長崎県，熊本県，大分県）の1,602社の人事関連業務に携わっている人を対象とした。その内、457社から有効回答を得た（有効回答率28.5%）。

2) 回答企業（回答者）の属性など

回答企業の本社所在地は「東京都」が17.3%で最も多く、次いで、「愛知県」が15.1%であった。本学の所在地である「富山県」は11.2%であった。回答者の人事採用への関与度は、「採用の決裁権があり，採用に関わっている」が18.2%，「採用の決裁権はないが，選考

に関わっている」が64.1%であり、採用や選考に関わっている人は82.3%と大きな割合である。回答企業の業種は、「建設業」が31.1%、「化学工業」「鉄鋼業」などを含む「製造業」は23.0%となっている。

回答企業の規模は、従業員数（正規社員）「100～500名未満」が38.9%と最も多くなっているが50名未満から1,000名以上5,000名未満の各規模区分においていずれも10%を超えており、特定の規模層に偏りなく回答を得ている。

以上のことから、回答企業は新学部の養成する人材像に関連して、就職先として予想される業種や規模等に対応しており、その結果を社会的ニーズの客観的な根拠として利用する。

3) 調査結果

学科別に特色に対する魅力度と採用意向をみると、次のとおりである。なお、魅力度とは有効回答数に対して、「とても魅力を感じる」または「ある程度魅力を感じる」と回答した企業の割合である。また、社会的必要性として新学部の学科がこれからの社会にとって「必要だと思う」割合を、採用意向として「採用したいと思う」企業数とその割合を示した。

<地球システム科学科の魅力度，社会的必要性と採用意向>

地球の成り立ちや変動を学ぶとともに、高低差4,000mのユニークな環境を舞台として地域の自然を学びます。地球と地域の両方の視点から、安全・安心な社会に貢献できる人材を育成します。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 魅力度 63.2%

● 社会的必要性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 394社（有効回答の86.2%）

● 採用意向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 240社（有効回答の52.5%）

毎年の採用想定人数（計）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 281名（入学定員の4倍以上）

<都市・交通デザイン学科の魅力度，社会的必要性と採用意向>

建設工学を基礎にして、デザインや経済などの幅広い知識を修得することにより、持続発展可能で災害に強い安全・安心な都市建設および都市・交通計画ができる国際性豊かな人材を育成します。また一級建築士の資格も目指すことができます。・・・・・・・・・・・・・・・・ 魅力度 85.3%

● 社会的必要性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 443社（有効回答の96.9%）

● 採用意向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 354社（有効回答の77.5%）

毎年の採用想定人数（計）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 479名（入学定員の約1.2倍）

<材料デザイン工学科の魅力度，社会的必要性と採用意向>

原子・分子から都市構造物に至るテラスケールレンジの視点で、未来社会の基盤材料をデザインし創り出すための科学・工学の教育・研究を行い、高度な専門知識をもって安全・安心の実現に貢献する国際性豊かな材料エンジニアを育成します。・・・・・・・・・・・・・・・・ 魅力度 72.2%

● 社会的必要性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 410社（有効回答の89.7%）

● 採用意向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 271社（有効回答の59.3%）

毎年の採用想定人数（計）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 334名（入学定員の4.7倍以上）

また、前述のとおり、アンケート実施後に、材料デザイン工学科の学生定員を60名に変更しており、企業等からの社会ニーズの値についても、結果以上に向上すると考えられる。

4) 建築と土木に関する市場規模

我が国の建設に関する投資額は、震災前の平成22年度である41.9兆円と比べて東日本大震災の復興や東京オリンピックの開催もあり増加してきており、平成28年度には51.7兆円となる見通しとされている。分野別内訳は建築27.6兆円、土木24.1兆円である。

また、主体別内訳は政府が21.7兆円、民間30兆円である。このように、建築及び社会基盤（土木）に関する投資市場が一定程度存在するとともに、民間だけではなく政府投資も42%のウェイトを有し、公共事業を担う行政部門においても大きな市場があることが確認される。

出展：平成28年度「建設投資見通し」（平成28年7月、国土交通省）

5) 地域からの要望

上記の調査や統計とは別に新学部における土木・建築系への教育を始めとした新たな人材育成に対し強い要望が本学に寄せられており、社会的・地域的な人材需要が十分にあることがわかる。

【資料6 要望書】

資料（目次）
（学生の確保の見通し等を記載した書類）

資料 1 富山大学「都市デザイン学部」（仮称）設置に関するニーズ調査 （高校生対象調査）	1
資料 2 高校生対象 調査票	17
資料 3 設置構想資料	19
資料 4 富山大学「都市デザイン学部」（仮称）設置に関するニーズ調査 （企業対象調査）	23
資料 5 企業対象 調査票	48
資料 6 要望書	52

資料 1 富山大学「都市デザイン学部」(仮称) 設置に関するニーズ調査
(高校生対象調査)

**富山大学「都市デザイン学部」(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【高校生対象調査】**

**平成29年1月
株式会社 進研アド**

高校生対象 調査概要

1. 調査目的

2018年4月開設予定の「富山大学 都市デザイン学部」(仮称)新設構想に関して、高校生のニーズを把握する。

2. 調査概要

		高校生対象調査
調査対象		高校2年生
調査エリア		新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府
調査方法		高校留め置き調査
調査対象数	依頼数	14,978人 (107校)
	有効回収数 (回収率)	8,991人 (85校) (60.0%)
調査時期		2016年12月5日(月)～2016年12月21日(水)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

高校生対象調査
<ul style="list-style-type: none">・性別・高校所在地・高校種別・所属クラス・高校卒業後の希望進路・興味のある学問系統・都市デザイン学部の特色に対する魅力度・都市デザイン学部への受験意向・都市デザイン学部への入学意向

高校生対象 調査結果まとめ



高校生対象 調査結果まとめ

回答者の属性

※本調査は、富山大学の新学部である「都市デザイン学部」に対する需要を確認するための調査として設計したため、富山大学の主な学生募集エリアである富山県をはじめとした、新潟県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府に所在する高校の高校2年生に調査を実施し、8,991人から回答を得た。

- 回答者の性別は「男性」が62.0%、「女性」が37.6%。
- 回答者の在籍高校種別は「公立」が90.6%、「私立」が9.4%。
- 回答者の在籍高校所在地は富山大学の学生募集の中心である「富山県」が21.9%、「愛知県」が25.0%。
- 回答者の所属クラスは「理系クラス(理系コース)」が87.9%。

高校卒業後の希望進路や興味のある学問系統

- 回答者の高校卒業後の希望進路を複数回答で聴取したところ、「国立大学に進学」が78.6%と最も高く、次いで「公立大学」が40.5%と高い。国公立大学への進学志望者が多いことから、富山大学がターゲットとする対象に調査を実施出来ていると考えられる。
- 回答者の興味のある学問系統では、都市デザイン学部の学問内容と関連する、「工学」が49.5%、「理学」が28.6%と高い。

高校生対象 調査結果まとめ

都市デザイン学部の特色に対する魅力度

- 都市デザイン学部の特色に対する魅力度(※)は、全ての項目において6割を超える。
- 都市デザイン学部の特色は、「A. <都市デザイン学部の教育の特徴①>「地球科学」「材料」「都市」の専門知識に、芸術文化・社会系の知識を総合して、3学科が教育連携することで、自然を理解し、災害に強い安全・安心都市の創出と地域創生ができる人材を育成します。」(70.9%)、「B. <都市デザイン学部の教育の特徴②>地域課題に即したフィールドワークなどの実践的教育により、地域社会を活性化できる人材、およびグローバル化に対応した国際水準の教育カリキュラム(JABEEプログラム)と徹底した英語教育を実施することで、海外でも活躍できる人材を育成します。」(69.0%)である。
- 学科別の特色で最も魅力度が高いのは、「D. <都市・交通デザイン学科の教育の特徴>建設工学を基礎にして、デザインや経済などの幅広い知識を修得することにより、持続発展可能で災害に強い安全・安心な都市建設および都市・交通計画ができる国際性豊かな人材を育成します。また一級建築士の資格も目指すことができます。」(72.1%)である。

次いで、「E. <材料デザイン工学科の教育の特徴>原子・分子から都市構造物に至るテラスケールレンジの視点で、未来社会の基盤材料をデザインし創り出すための科学・工学の教育・研究を行い、高度な専門知識をもって安全・安心の実現に貢献する国際性豊かな材料エンジニアを育成します。」(68.5%)、「C. <地球システム科学科の教育の特徴>地球の成り立ちや変動を学ぶとともに、高低差4,000mのユニークな環境を舞台として地域の自然を学びます。地球と地域の両方の視点から、安全・安心な社会に貢献できる人材を育成します。」(66.5%)が高い。

※魅力度=「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

都市デザイン学部への受験意向

- 都市デザイン学部を「受験したいと思う」と答えた人は16.6%(1,493人)である。

高校生対象 調査結果まとめ

地球システム科学科への入学意向

- ・都市デザイン学部を「受験したいと思う」と答えた1,493人のうち、地球システム科学科への入学意向を示した人は、25.4% (**379人**)であり、入学定員40名を上回っている。以下は属性別の結果である。

◇性別

- ・「男性」の地球システム科学科への入学意向は27.3% (1,072人中、**293人**)と予定している入学定員数を上回っている。

◇高校所在地別

- ・大学所在地である「富山県」の高校在籍者からの地球システム科学科への入学意向は23.1% (324人中、**75人**)、隣県である「石川県」は29.2% (325人中、**95人**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

◇高校卒業後の希望進路別

- ・富山大学を受験・入学する可能性が高い「国立大学に進学」を考えている回答者の地球システム科学科への入学意向は24.6% (1,282人中、**315人**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

◇興味のある学問系統別

- ・地球システム科学科の学問内容と関連のある「工学」に興味がある回答者の入学意向は20.6% (1,066人中、**220人**)、「理学」に興味がある回答者の入学意向は35.3% (538人中、**190人**)と、いずれも予定している入学定員数を上回っている。

◇都市デザイン学部の特色に対する魅力別

- ・地球システム科学科の特色である「特色C」に魅力を感じた回答者の入学意向は、28.6% (1,295人中、**371人**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

高校生対象 調査結果まとめ

都市・交通デザイン学科への入学意向

- 都市デザイン学部を「受験したいと思う」と答えた1,493人のうち、都市・交通デザイン学科への入学意向を示した人は、51.4% (**767人**)であり入学定員40名を上回っている。以下は属性別の結果である。

◇性別

- 「男性」の都市・交通デザイン学科への入学意向は48.2% (1,072人中、**517人**)と予定している入学定員数を上回っている。

◇高校所在地別

- 大学所在地である「富山県」の高校在籍者からの都市・交通デザイン学科への入学意向は50.9% (324人中、**165人**)、隣県である「石川県」は49.8% (325人中、**162人**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

◇高校卒業後の希望進路別

- 富山大学を受験・入学する可能性が高い「国立大学に進学」を考えている回答者の都市・交通デザイン学科への入学意向は52.3% (1,282人中、**670人**)と予定している入学定員数を上回っている。

◇興味のある学問系統別

- 都市・交通デザイン学科の学問内容と関連のある「工学」に興味がある回答者の入学意向は54.1% (1,066人中、**577人**)、「理学」に興味がある回答者の入学意向は39.4% (538人中、**212人**)と、いずれも予定している入学定員数を上回っている。

◇都市デザイン学部の特徴に対する魅力別

- 都市・交通デザイン学科の特徴である「特色D」に魅力を感じた回答者の入学意向は、53.1% (1,406人中、**747人**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

高校生対象 調査結果まとめ

材料デザイン工学科への入学意向

- 都市デザイン学部を「受験したいと思う」と答えた1,493人のうち、材料デザイン工学科への入学意向を示した人は、17.6% (**263人**)であり、入学定員70名を上回っている。以下は属性別の結果である。

◇性別

- 「男性」の 材料デザイン工学科への入学意向は18.9% (1,072人中、**203人**)と予定している入学定員数を上回っている。

◇高校所在地別

- 「愛知県」の高校在籍者からの材料デザイン工学科への入学意向は 22.5% (400人中、**90人**)と、予定している入学定員数を上回っている。

◇高校卒業後の希望進路別

- 富山大学を受験・入学する可能性が高い「国立大学に進学」を考えている回答者の材料デザイン工学科への入学意向は18.2% (1,282人中、**233人**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

◇興味のある学問系統別

- 材料デザイン工学科の学問内容と関連のある「工学」に興味がある回答者の入学意向は20.0% (1,066人中、**213人**)、「理学」に興味がある回答者の入学意向は18.6% (538人中、**100人**)と、いずれも予定している入学定員数を上回っている。

◇都市デザイン学部の特色に対する魅力別

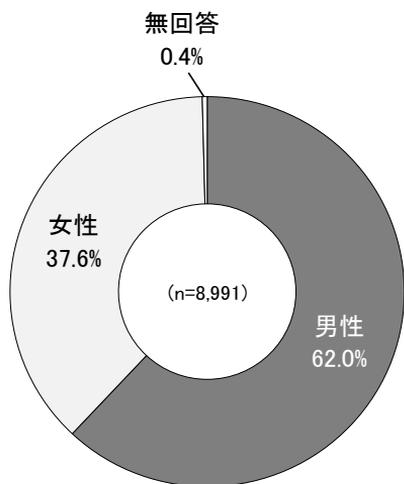
- 材料デザイン工学科の特色である「特色E」に魅力を感じた回答者の入学意向は、20.2% (1,295人中、**261人**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

高校生対象 調査結果

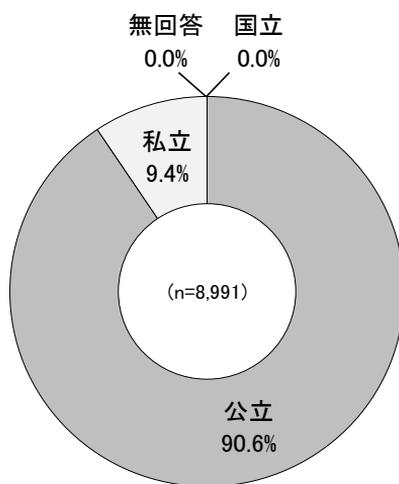


回答者の属性(性別/高校種別/高校所在地/所属クラス)

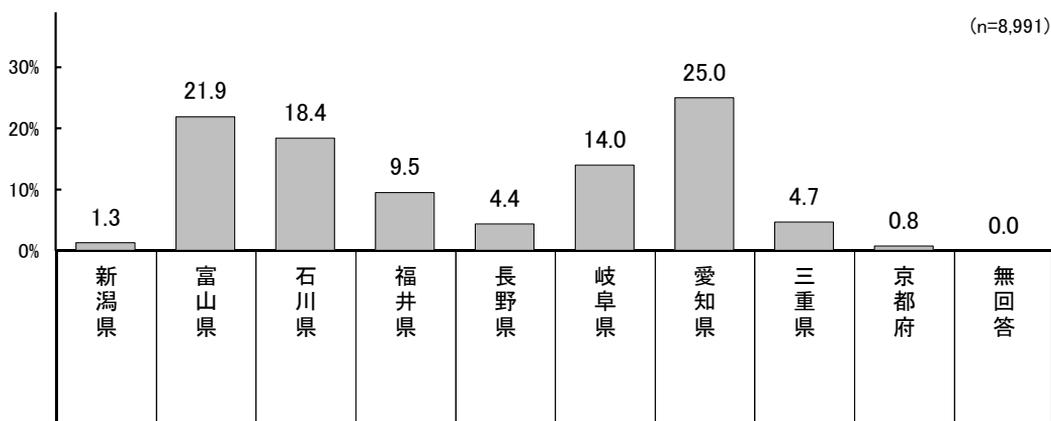
■性別



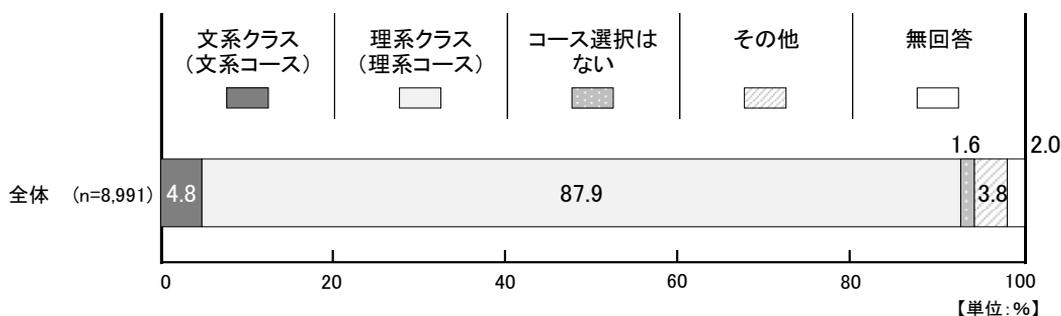
■高校種別



■高校所在地



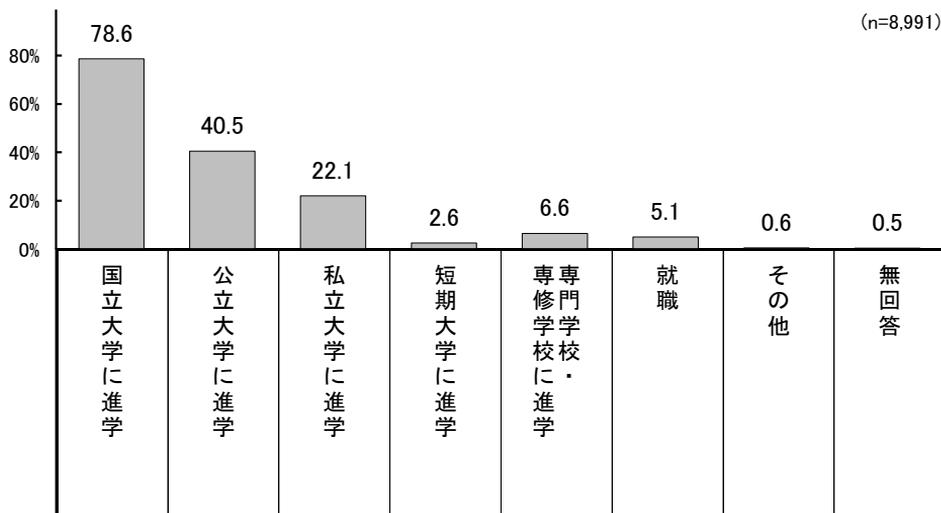
■所属クラス



高校卒業後の希望進路／興味のある学問系統

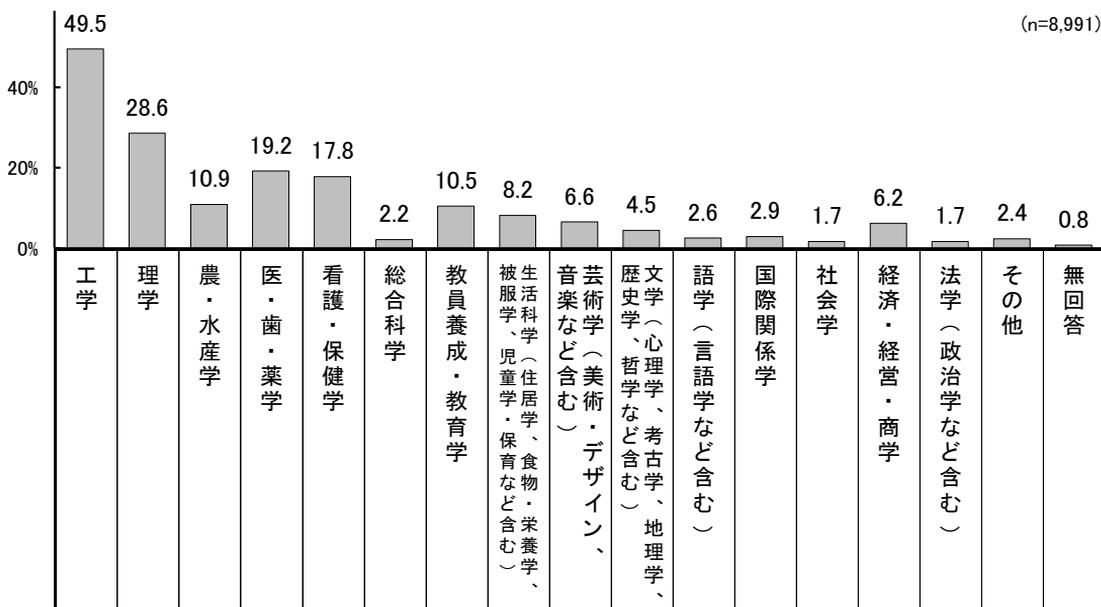
■高校卒業後の希望進路

Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。
以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)



■興味のある学問系統

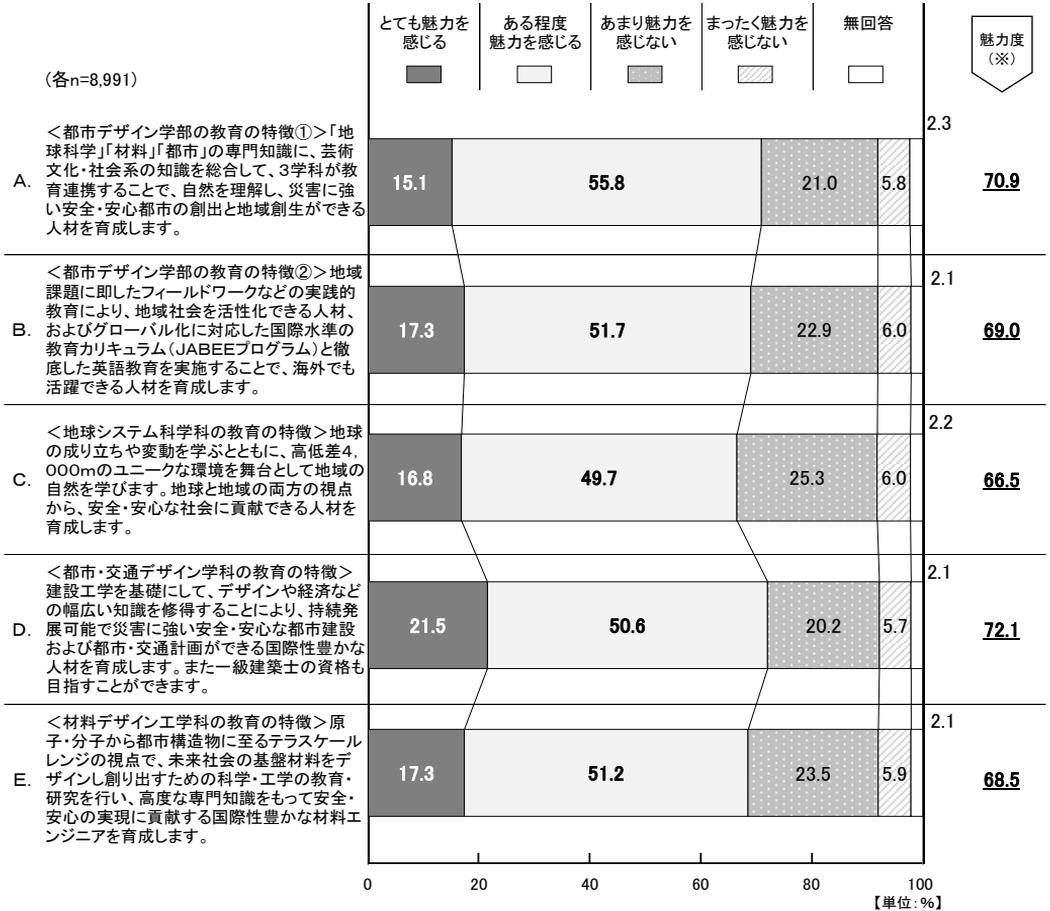
Q2. あなたは、どのような学問分野に興味がありますか。
以下の項目から、興味のある学問分野の番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)
(現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)



都市デザイン学部の特徴に対する魅力度

■都市デザイン学部の特徴に対する魅力度

Q3. 富山大学の「都市デザイン学部」(仮称、設置構想中)と、その各学科(すべて仮称、設置構想中)には、以下のような教育の特徴があります。
 それぞれの特徴について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



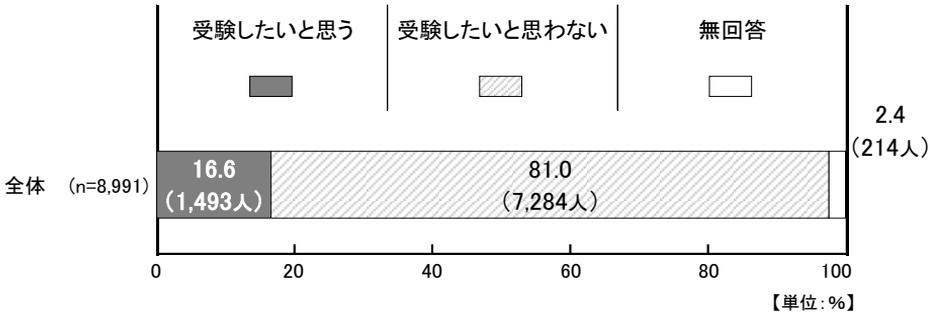
※魅力度=「とても魅力を感じる」+「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

都市デザイン学部への受験意向／ 都市デザイン学部の希望の入学学科

■都市デザイン学部への受験意向

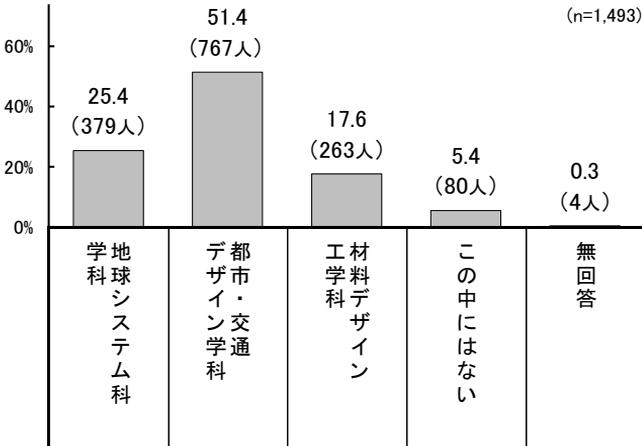
Q4. あなたは、富山大学の「都市デザイン学部」（仮称、設置構想中）を受験してみたいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方の番号1つにQをつけてください。（1つだけ）



「受験したいと思う」と答えた1,493人のみ抽出

■都市デザイン学部の希望の入学学科

Q5. あなたは、富山大学の「都市デザイン学部」（仮称、設置構想中）を受験して合格したら、どの学科に入学したいと思いますか。
あなたの気持ちに一番近い番号1つにQをつけてください。（1つだけ）



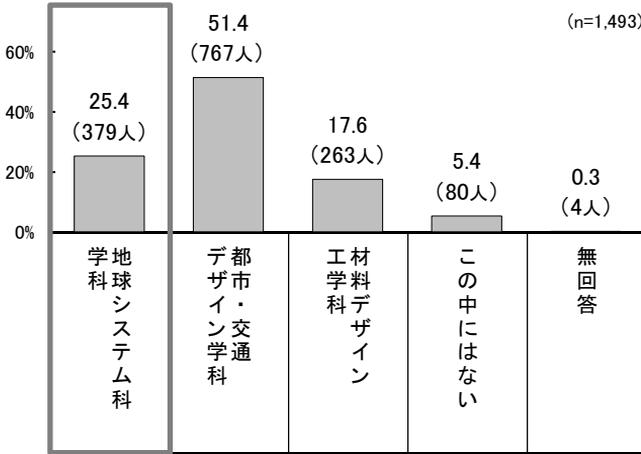
都市デザイン学部 地球システム科学科への入学意向

<属性別> (「受験したいと思う」と答えた1,493人のみ抽出)

■都市デザイン学部 地球システム科学科への入学意向

Q5. あなたは、富山大学の「都市デザイン学部」(仮称、設置構想中)を受験して合格したら、どの学科に入学したいと思いますか。
あなたの気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

※Q4の「都市デザイン学部」(仮称、設置構想中)を「受験したいと思う」と答えた1,493人の回答



<属性別>

入学意向者数

属性	人数 (n)	割合 (%)	入学意向者数
全体	(n=1,493)	25.4	379人
性別	男性 (n=1,072)	27.3	293人
	女性 (n=412)	20.4	84人
高校所在地別	富山県 (n=324)	23.1	75人
	石川県 (n=325)	29.2	95人
	福井県 (n=107)	15.9	17人
	長野県 (n=52)	36.5	19人
	岐阜県 (n=210)	24.3	51人
	愛知県 (n=400)	23.5	94人
卒業後の進路別	国立大学に進学 (n=1,282)	24.6	315人
	公立大学に進学 (n=687)	21.8	150人
	私立大学に進学 (n=348)	25.6	89人
興味のある学問系統別	工学 (n=1,066)	20.6	220人
	理学 (n=538)	35.3	190人
都市デザイン学部の魅力に対する対する魅力別	特色A 魅力あり (n=1,406)	25.3	356人
	特色B 魅力あり (n=1,318)	25.6	338人
	特色C 魅力あり (n=1,295)	28.6	371人

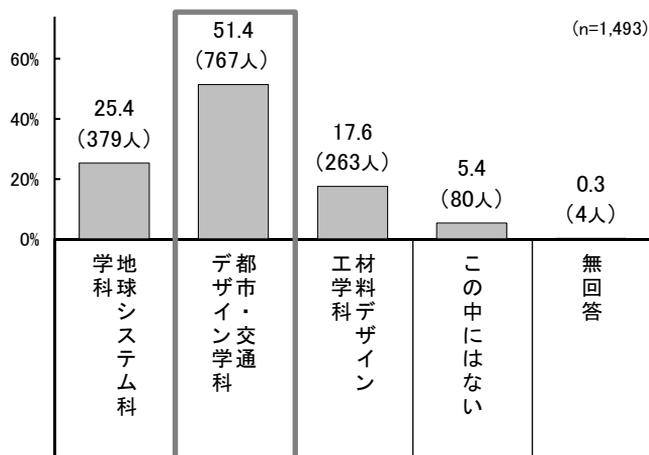
【単位: %】

都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科への入学意向 <属性別>（「受験したいと思う」と答えた1,493人のみ抽出）

■都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科への入学意向

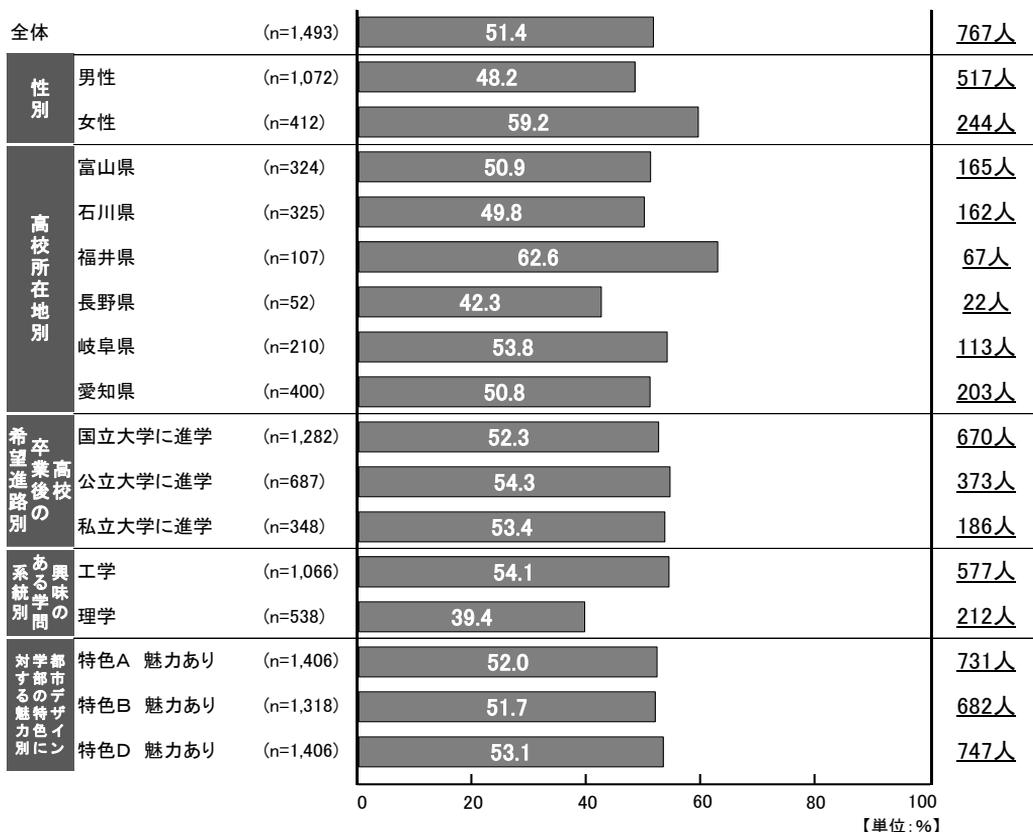
Q5. あなたは、富山大学の「都市デザイン学部」（仮称、設置構想中）を受験して合格したら、どの学科に入学したいと思いますか。
あなたの気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。（1つだけ）

※Q4の「都市デザイン学部」（仮称、設置構想中）を「受験したいと思う」と答えた1,493人の回答



<属性別>

入学意向者数



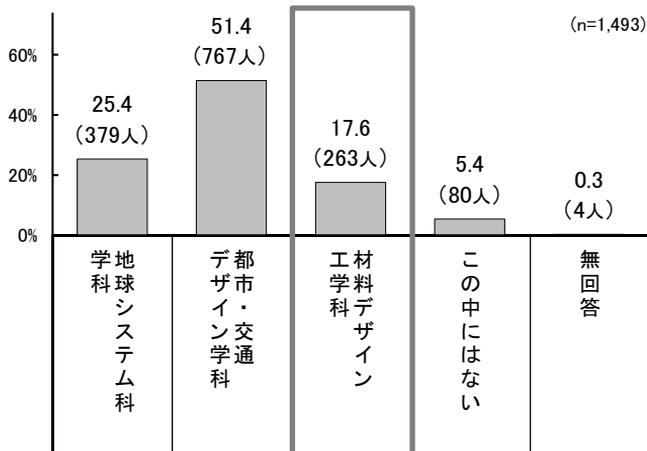
都市デザイン学部 材料デザイン工学科への入学意向

<属性別> (「受験したいと思う」と答えた1,493人のみ抽出)

■都市デザイン学部 材料デザイン工学科への入学意向

Q5. あなたは、富山大学の「都市デザイン学部」(仮称、設置構想中)を受験して合格したら、どの学科に入学したいと思いますか。
あなたの気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

※Q4の「都市デザイン学部」(仮称、設置構想中)を「受験したいと思う」と答えた1,493人の回答



<属性別>

入学意向者数

属性	人数 (n)	割合 (%)	入学意向者数
全体	(n=1,493)	17.6	263人
性別	男性 (n=1,072)	18.9	203人
	女性 (n=412)	14.6	60人
高校所在地別	富山県 (n=324)	20.1	65人
	石川県 (n=325)	14.2	46人
	福井県 (n=107)	14.0	15人
	長野県 (n=52)	9.6	5人
	岐阜県 (n=210)	15.7	33人
	愛知県 (n=400)	22.5	90人
卒業後の高校進学先別	国立大学に進学 (n=1,282)	18.2	233人
	公立大学に進学 (n=687)	19.4	133人
	私立大学に進学 (n=348)	17.2	60人
興味のある学問系統別	工学 (n=1,066)	20.0	213人
	理学 (n=538)	18.6	100人
都市デザイン学部の魅力に対する特色別	特色A 魅力あり (n=1,406)	17.4	244人
	特色B 魅力あり (n=1,318)	17.0	224人
	特色E 魅力あり (n=1,295)	20.2	261人

0 20 40 60 80 100
【単位: %】

資料 2 高校生対象 調査票

高校生対象 調査票

富山大学 都市デザイン学部（仮称、設置構想中）に関するアンケート

富山大学では、現在高校2年生のみなさんが大学生となる2018年（平成30年）4月に、「都市デザイン学部」（仮称）を新設することを構想しています。

このアンケートは、高校生のみなさんから新しい「都市デザイン学部」に対する意見をお伺いし、富山大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただきます。

このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありませんので、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートや同封した資料に記載されている「都市デザイン学部」（仮称、設置構想中）に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

記入要領

1. 回答は、あてはまる番号に「○」印をつけてください。
2. この用紙は、電算処理しますので汚さないようにしてください。
3. 記入は、必ず鉛筆又はシャープペンシルで濃く書いてください。
4. 下記の【良い記入例】にしたがって記入してください。
特に、「○」印は、番号丸枠からはみ出さないようにつけてください。

ここに○印をつけてください

ID 50

この欄には記入しないでください

工学

良い 記入例	<input type="radio"/> 工学	<input type="radio"/> 農・水産学	悪い 記入例	<input type="radio"/> 工学	<input type="radio"/> 工学	<input type="radio"/> 工学
	<input type="radio"/> 理学	<input type="radio"/> 医・歯・薬学		<input type="radio"/> 理学	<input type="radio"/> 理学	<input type="radio"/> 理学

I. はじめにあなた自身についてお聞きします。

性別 (1つに○)	<input type="radio"/> 男性	<input type="radio"/> 女性	学年 (1つに○)	<input type="radio"/> 1年生	<input type="radio"/> 2年生	<input type="radio"/> 3年生
在籍している 高校名	高校所在地 [] 都・道・府・県					
	<input type="radio"/> 国立 <input type="radio"/> 公立 <input type="radio"/> 私立 (←1つに○) [] 高等学校					
所属クラス (1つに○)	<input type="radio"/> 文系クラス (文系コース)		<input type="radio"/> コース選択はない			
	<input type="radio"/> 理系クラス (理系コース)		<input type="radio"/> その他 (具体的に:)			

II. 次に高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

Q1 あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。
以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)

- | | | |
|-------------------------------|------------------------------------|---------------------------|
| <input type="radio"/> 国立大学に進学 | <input type="radio"/> 短期大学に進学 | <input type="radio"/> その他 |
| <input type="radio"/> 公立大学に進学 | <input type="radio"/> 専門学校・専修学校に進学 | [] |
| <input type="radio"/> 私立大学に進学 | <input type="radio"/> 就職 | |

Q2 あなたは、どのような学問分野に興味がありますか。
以下の項目から、興味のある学問分野の番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)
(現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)

- | | | |
|--------------------------------|---------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> 工学 | <input type="radio"/> 生活科学
(住居学、食物・栄養学、被服学、
児童学・保育など含む) | <input type="radio"/> 社会学 |
| <input type="radio"/> 理学 | <input type="radio"/> 芸術学(美術・デザイン、音楽など含む) | <input type="radio"/> 経済・経営・商学 |
| <input type="radio"/> 農・水産学 | <input type="radio"/> 文学
(心理学、考古学、地理学、
歴史学、哲学など含む) | <input type="radio"/> 法学(政治学など含む) |
| <input type="radio"/> 医・歯・薬学 | <input type="radio"/> 言語学(言語学など含む) | [] |
| <input type="radio"/> 看護・保健学 | <input type="radio"/> 国際関係学 | |
| <input type="radio"/> 総合科学 | | |
| <input type="radio"/> 教員養成・教育学 | | |

資料 3 設置構想資料

2018年4月、
富山大学に新しい
学部が誕生します

都市デザイン学部

仮称 設置構想中

地球システム科学科
都市・交通デザイン学科
材料デザイン工学科

「地球科学」「都市と交通」「材料工学」の専門知識を融合して、安全・安心都市の創出をめざす。

都市デザイン学部

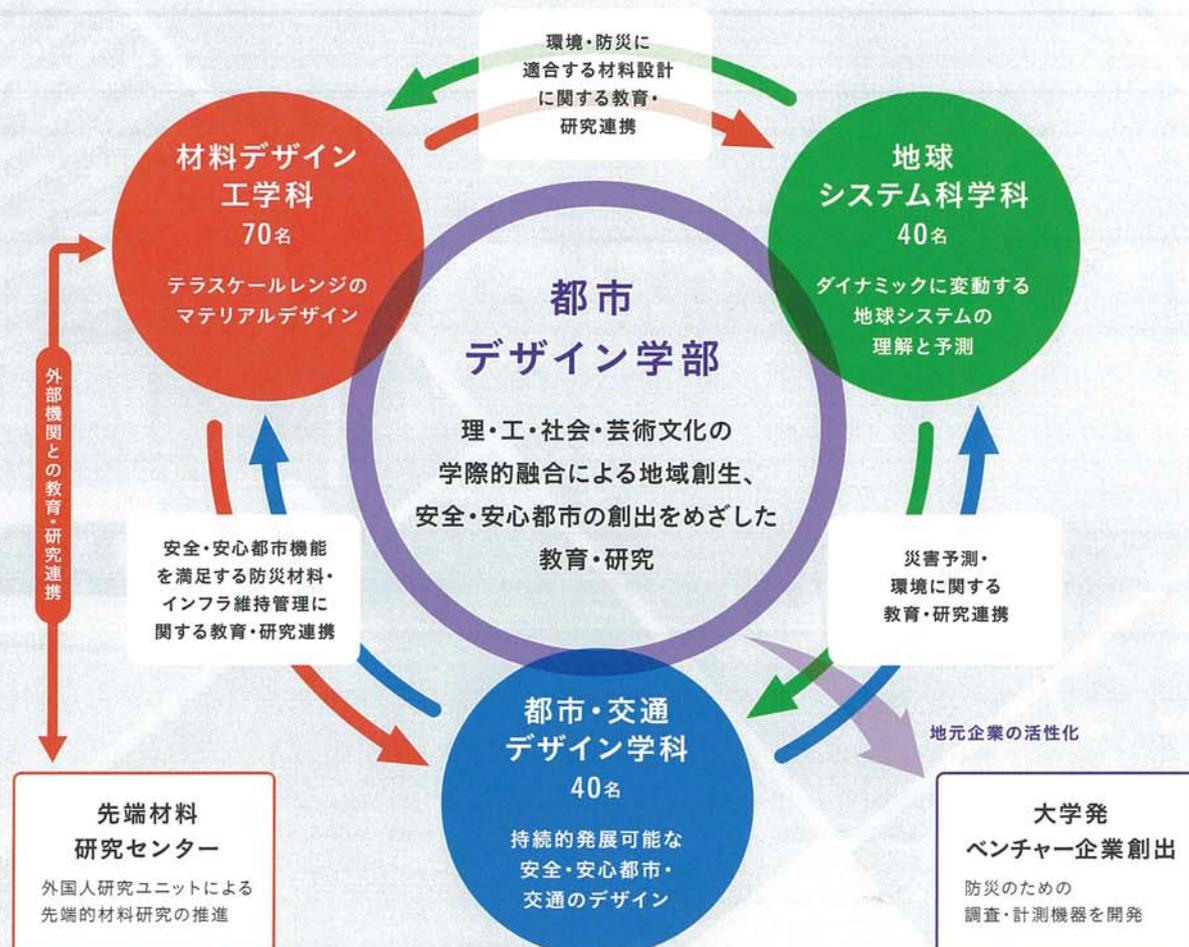
都市デザイン学部の目的

都市デザイン学部は、自然科学と科学技術を基盤とし、社会科学要素を加味した「自然災害の予測やリスク管理、社会基盤材料の開発、都市と交通の創造」に関わる特色ある国際水準の教育・研究を行い、デザイン思考の素養を有した創造力のある人材を育成し、地域や都市の創生と持続的発展を通じて、人間社会と自然環境とが共生する理想的な社会の実現に寄与することを目的とする。

Point 学びの特色

- 壮大で美しい自然を有し、先進的な都市づくりを行っている富山を実験フィールドとして、都市デザインに必要な知識と技術を学ぶ。
- 3学科が連携して学び、安全・安心都市の創出と地域創生ができる人材をめざす。
- 地域と連携した実践的教育により、地域産業を活性化できる力を身に付ける。
- グローバル化に対応したJABEE教育カリキュラムにより、海外でも活躍できる人材を育む。

3学科が連携する都市デザイン学部の学び



記載の内容は現在構想中の予定であり、変更される可能性があります。

地球システム科学科

ダイナミックに変動する地球システムの理解と予測

地球と地域の視点から安全・安心な社会に貢献

大気から海洋、地球内部にいたる「地球」の成り立ちを学ぶとともに、北アルプスから富山湾にいたる高低差4,000mというユニークな環境を舞台として地域の自然を学びます。地球と地域の両方の視点から、安全・安心な社会に貢献できる人材を育成します。

- 大気から海洋、地球内部まで幅広く「地球」を学ぶ
- 高低差4,000mのユニークな環境を舞台に地域の自然を学ぶ
- 「地球」の過去から未来、自然災害の予測に関わる教育・研究

開設予定科目(一部)

地質学 地震学 火山学 気象学 気候学
海洋物理学 地球進化学 地球電磁気学
地球情報学 等

取得をめざす資格・免許(予定)

- 技術士(4年の実務経験が必要)
- 技術士補(卒業時に取得可能)
- 測量士(1年の実務経験が必要)
- 測量士補(卒業時に取得可能)
- GIS専門学術士(実務経験が必要)
- 地域調査士
- 専門地域調査士(実務経験が必要)
- 高等学校教諭一種免許状(理科)
- 中学校教諭一種免許状(理科)
- 博物館学芸員

想定される就職先

- 官公庁 ● 地方自治体
- 空間情報(GIS/航空写真)関連企業
- 資源関連企業 ● 地質・環境コンサルタント
- 土木・建設業 ● ソフトウェア開発企業 等

※GIS(Geographic Information System) / 地理情報システム

都市・交通デザイン学科

都市と交通の将来を担う専門知識と技術を修得

持続的発展可能な安全・安心都市、地域をデザイン

従来の建設工学領域に加えて、都市・交通計画や地域創生などの社会学系、デザインなどの芸術文化学系、および地球科学や材料などの理工学系領域を融合して学びます。幅広い知識に基づいた多角的なアプローチによって、災害に強い安全・安心な都市建設と持続的発展可能な都市・交通の基盤をデザインできる人材の育成をめざします。また、建築系科目を学ぶことにより、一級建築士をめざすことができます。

- 災害に強い安全・安心な都市を計画・建設できる
- 経済・文化、行政・社会も理解して都市・交通計画を学ぶ
- 一級建築士の受験資格(2年の実務経験要)も取得可能

開設予定科目(一部)

構造力学 地盤工学 コンクリート工学 水理・水工学
都市計画 都市景観 都市交通計画 地域創生
建築系科目 空間デザイン 建築計画 建築設備 等

取得をめざす資格・免許(予定)

- 技術士(4年の実務経験が必要)
- 技術士補(卒業時に取得可能)
- 一級建築士(2年の実務経験が必要)
- 二級建築士
- 測量士(1年の実務経験が必要)
- 測量士補(卒業時に取得可能)
- 高等学校教諭一種免許状(工業)
- 不動産鑑定士
- 宅地建物取引主任者
- 環境計量士
- 土地家屋調査士
- 土地区画整理士
- 公害防止管理者
- 土木施工管理技士
- 造園施工管理技士
- コンクリート技士
- コンクリート診断士
- 土木学会技術者資格
- 管工事施工管理技士

想定される就職先

- 官公庁 ● 建設・都市計画コンサルタント
- 地方自治体 ● 環境管理・分析業
- 総合建設業 ● JR・民間鉄道・運輸関連事業者
- 建築設計事務所・住宅メーカー ● 不動産業・造園業
- 測量コンサルタント ● シンクタンク 等
- UR都市機構・NEXCO・首都高速・阪神高速

材料デザイン工学科

安全・安心を担う強靱材料・防災材料を開発

テラスケールレンジの材料科学

ナノ材料(10^{-9} m)から巨大構造物(10^3 m)に至るテラスケール(10^3)レンジの視点に立った材料設計・創製を教育・研究の主題とし、高機能軽金属材料、資源・エネルギー関連材料、インフラ構造材料など、基礎から産業応用そして社会基盤の強靱化に寄与する材料工学を総合的に学びます。

- 革新的新素材の設計・創造をめざす
- 富山の基幹産業、アルミ産業に資する教育・研究
- 防災・減災に関わる材料の開発研究

開設予定科目(一部)

固体物性学 機能材料学 組織制御学 材料加工学
鉄鋼材料学 腐食・防食学 凝固・ casting 工学 溶接工学
計算材料学 等

取得をめざす資格・免許(予定)

- 技術士(4年の実務経験が必要)
- 技術士補(卒業時に取得可能)
- 高等学校教諭一種免許状(工業)
- エネルギー管理士
- 毒物劇物取扱責任者
- 高圧ガス製造保安責任者
- 安全管理者
- 非破壊検査技術者
- 危険物取扱者
- 公害防止管理者
- X線作業主任者

想定される就職先

- 官公庁 ● セラミクス素材製造・関連企業
- 地方自治体 ● 鉄鋼材料製造・関連企業
- 機械関連企業 ● 軽金属材料製造・関連企業
- 自動車関連企業 ● 電子材料製造・関連企業
- 土木・建設関連産業 ● 航空機・宇宙部品製造・関連企業 等
- 船舶素材製造関連企業
- 金属素材製造・関連企業

* 技術士は、弁護士、会計士と並び、工学分野における最高の国家資格です。当学部を卒業すると修習技術者の資格が与えられ、登録することで技術士補になれます(第1次試験免除)。その後、実務経験を経て第2次試験に合格すると技術士の資格が与えられます。

設置概要(構想中)

学部名称	都市デザイン学部		
学科構成	地球システム科学科/都市・交通デザイン学科/材料デザイン工学科		
学位	学士(理学)/学士(都市デザイン学)/学士(工学)		
入学定員	地球システム科学科/40名	都市・交通デザイン学科/40名	材料デザイン工学科/70名
設置年度	2018年4月		
設置場所	五福キャンパス		

都市デザイン学部1年次における学費

入学金	授業料
282,000円 (予定額)	267,900円 (年額/535,800円)(予定額)

なお、上記金額は予定額であり、入学時および在学中に学生納付金が改定された場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

○総合教育研究棟(工学系)



アクセス



交通案内(JR富山駅前から「五福キャンパス」まで)

- 市内電車「大学前」行き終点下車 所要時間 約20分
- バス「高岡駅前」行き等「富山大学前」下車 所要時間 約20分

富山へのアクセス

- 札幌から——新千歳空港から飛行機で約1時間30分
- 東京から——羽田空港から飛行機で約1時間
JR東京駅から北陸新幹線で約2時間8分
- 名古屋から——JR名古屋駅から電車で約3時間20分
- 大阪から——JR大阪駅から電車で約3時間20分



〒930-8555 富山県富山市五福3190 富山大学工学部総務課 Tel.076-445-6698
http://www.u-toyama.ac.jp

記載の内容は現在構想中の予定であり、変更される可能性があります。

資料4 富山大学「都市デザイン学部」(仮称)設置に関するニーズ調査
(企業対象調査)

**富山大学「都市デザイン学部」(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【企業対象調査】**

**平成29年1月
株式会社 進研アド**

企業対象 調査概要

1. 調査目的

2018年4月開設予定の「富山大学 都市デザイン学部」新設構想に関して企業のニーズを把握する。

2. 調査概要

		企業対象調査
調査対象		企業の採用担当者
調査エリア		北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	1,602社
	回収数(回収率)	457社(28.5%)
調査時期		2016年12月5日(月)～2016年12月19日(月)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

企業対象調査
<ul style="list-style-type: none">・人事採用への関与度・本社所在地・勤務先の主な業種・従業員数・正規社員の平均採用人数・本年度の採用予定数・採用したい学問系統・都市デザイン学部の特色に対する魅力度・都市デザイン学部の社会的必要性・都市デザイン学部卒業生に対する採用意向・都市デザイン学部卒業生の毎年の採用想定人数・都市・交通デザイン学科の学生に履修して欲しい専門科目

企業対象 調査結果まとめ



企業対象 調査結果まとめ

回答企業(回答者)の属性

※本調査は、富山大学の新学部である「都市デザイン学部」に対する人材需要を確認するための調査として設計したため、富山大学卒業生が就職している、もしくは就職先として想定される企業・団体の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、457企業から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は18.2%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人が64.1%と、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できていると考えられる。
- 回答企業の本社所在地は、「東京都」が17.3%と最も多く、次いで「愛知県」が15.1%と多い。富山大学の所在地である「富山県」は11.2%。
- 回答企業の業種としては、都市デザイン学部卒業生の就職先として想定される「建設業」が31.1%、「化学工業」「鉄鋼業」などを含む「製造業」は23.0%である。
- 回答企業の従業員数(正規社員)は、「100名～500名未満」が38.9%で最も多い。次に「500名～1,000名未満」(18.4%)、「1,000名～5,000名未満」(17.9%)が多くっており、100名以上の比較的規模の大きな企業が半数以上を占める。

回答企業の採用状況(過去3か年)

- 回答企業の過去3か年の平均的な正規社員の採用人数は、「1名～5名未満」が23.6%で最も多い。次いで、「10名～20名未満」が22.1%、「5名～10名未満」が12.5%。毎年、正規社員を採用している企業がほとんどである。
- 回答企業の本年度の採用予定数は、「昨年度並み」が58.2%で最も多く、次いで「増やす」が23.9%で多い。
- 回答企業の採用したい学問系統では、都市デザイン学部の学問内容と関連する「工学系統」が68.1%で最も多く、次いで「理学系統」が26.0%で多い。

企業対象 調査結果まとめ

都市デザイン学部の特徴に対する魅力度

- 都市デザイン学部の特徴に対する魅力度(※)は、5項目中4項目で7割を超える。
- 都市デザイン学部の特徴は、「A. <都市デザイン学部の教育の特徴①> 「地球科学」「材料」「都市」の専門知識に、芸術文化・社会系の知識を総合して、3学科が教育連携することで、自然を理解し、災害に強い安全・安心都市の創出と地域創生ができる人材を育成します。」(84.9%)、「B. <都市デザイン学部の教育の特徴②> 地域課題に即したフィールドワークなどの実践的教育により、地域社会を活性化できる人材、およびグローバル化に対応した国際水準の教育カリキュラム(JABEEプログラム)と徹底した英語教育を実施することで、海外でも活躍できる人材を育成します。」(79.6%)である。
- 学科別の特色で最も魅力度が高いのは、「D. <都市・交通デザイン学科の教育の特徴> 建設工学を基礎にして、デザインや経済などの幅広い知識を修得することにより、持続発展可能で災害に強い安全・安心な都市建設および都市・交通計画ができる国際性豊かな人材を育成します。また一級建築士の資格も目指すことができます。」(85.3%)。
次いで、「E. <材料デザイン工学科の教育の特徴> 原子・分子から都市構造物に至るテラスケールレンジの視点で、未来社会の基盤材料をデザインし創り出すための科学・工学の教育・研究を行い、高度な専門知識をもって安全・安心の実現に貢献する国際性豊かな材料エンジニアを育成します。」(72.2%)である。

※魅力度=「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

企業対象 調査結果まとめ

地球システム科学科の社会的必要性

- 地球システム科学科の社会的必要性についての評価は、86.2% (**394企業**)の企業が「必要だと思う」と回答。多くの企業がこれからの社会にとって必要な学科であると考えていることがうかがえる。

地球システム科学科卒業生に対する採用意向

- 地球システム科学科卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、52.5% (**240企業**)と、予定している入学定員40名の6倍の採用意向がみられた。以下は属性別の結果である。

◇本社所在地別

- 富山大学の所在地である「富山県」を含む「北陸」エリアの企業の採用意向は、57.7% (97企業中、**56企業**)、また「関東以北」エリアの採用意向も58.3% (139企業中、**81企業**)と、ともに予定している入学定員数を上回っている。

◇業種別

- 地球システム科学科卒業生の就職先として想定される「建設業」の採用意向は61.3% (142企業中、**87企業**)と、予定している入学定員数を上回っている。

◇従業員数別

- 従業員数が「100名未満」の企業の採用意向は45.5% (99企業中、**45企業**)、「100名～500名未満」は53.4% (178企業中、**95企業**)、また「1,000名以上」は50.0% (94企業中、**47企業**)と、会社の規模にかかわらず採用意向がみられる。

企業対象 調査結果まとめ

◇採用したい学問系統別

- 採用したい学問系統が「工学系統」の企業の採用意向は、49.8% (311企業中、**155企業**)、「理学系統」は62.2% (119企業中、**74企業**)と、ともに予定している入学定員数を上回っている。

◇都市デザイン学部の特徴に対する魅力別

- 地球システム科学科の特徴である「特色C」に「魅力あり」と回答した企業の採用意向は、69.9% (289企業中、**202企業**)と、予定している入学定員数を5倍以上上回っている。

◇社会的必要性別【地球システム科学科】

- 地球システム科学科を「必要だと思う」と回答した企業の採用意向は、59.6% (394企業中、**235企業**)と、予定している入学定員数を5倍以上上回る採用意向がみられた。

地球システム科学科卒業生の毎年の採用想定人数

- 地球システム科学科卒業生を「採用したいと思う」と答えた240企業へ、地球システム科学科卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、毎年の採用想定人数の合計は281名程度であった。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

企業対象 調査結果まとめ

都市・交通デザイン学科の社会的必要性

- 都市・交通デザイン学科の社会的必要性についての評価は、96.9% (**443企業**)の企業が「必要だと思う」と回答。多くの企業がこれからの社会にとって必要な学科であると考えていることがうかがえる。

都市・交通デザイン学科卒業生に対する採用意向

- 都市・交通デザイン学科卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、77.5% (**354企業**)と、予定している入学定員40名を8倍以上上回る採用意向がみられた。以下は属性別の結果である。

◇本社所在地別

- 富山大学の所在地である「富山県」を含む「北陸」エリアの企業の採用意向は、74.2% (97企業中、**72企業**)、また「関東以北」エリアの採用意向も82.7% (139企業中、**115企業**)と、ともに予定している入学定員数を上回っている。

◇業種別

- 都市・交通デザイン学科卒業生の就職先として想定される「建設業」の採用意向は96.5% (142企業中、**137企業**)と、予定している入学定員数を上回っている。

◇従業員数別

- 従業員数が「1,000名以上」の企業の採用意向は74.5% (94企業中、**70企業**)、また「100名～500名未満」は78.7% (178企業中、**140企業**)、「100名未満」は68.7% (99企業中、**68企業**)と、小規模な企業からの採用意向も比較的高い。

企業対象 調査結果まとめ

◇採用したい学問系統別

- 採用したい学問系統が「工学系統」の企業の採用意向は、76.2% (311企業中、**237企業**)、「理学系統」は73.9% (119企業中、**88企業**)と、ともに予定している入学定員数を上回っている。

◇都市デザイン学部の特徴に対する魅力別

- 都市・交通デザイン学科の特徴である「特色D」に「魅力あり」と回答した企業の採用意向は、86.4% (390企業中、**337企業**)と、予定している入学定員数を8倍以上上回っている。

◇社会的必要性別【都市・交通デザイン学科】

- 都市・交通デザイン学科を「必要だと思う」と回答した企業の採用意向は、79.7% (43企業中、**353企業**)と、予定している入学定員数を8倍以上上回る採用意向がみられた。

都市・交通デザイン学科卒業生の毎年の採用想定人数

- 都市・交通デザイン学科卒業生を「採用したいと思う」と答えた354企業へ、都市・交通デザイン学科卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、毎年の採用想定人数の合計は479名程度であった。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

企業対象 調査結果まとめ

都市・交通デザイン学科の学生に履修して欲しい専門科目

- 都市・交通デザイン学科卒業生を「採用したいと思う」と答えた354企業が都市・交通デザイン学科の学生に大学時代に履修して欲しい専門科目は、「建設設計・製図」が55.4%で最も高い。次いで、「建設施工」が54.2%、「建築施工」が46.6%、「構造力学」が45.8%、「建築設計・製図」が43.2%。

企業対象 調査結果まとめ

材料デザイン工学科の社会的必要性

- 材料デザイン工学科の社会的必要性についての評価は、89.7% (**410企業**)の企業が「必要だと思う」と回答。多くの企業がこれからの社会にとって必要な学科であると考えていることがうかがえる。

材料デザイン工学科卒業生に対する採用意向

- 材料デザイン工学科卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、59.3% (**271企業**)と、予定している入学定員70名を3倍以上上回る採用意向がみられた。以下は属性別の結果である。

◇本社所在地別

- 富山大学の所在地である「富山県」を含む「北陸」エリアの企業の採用意向は、60.8% (97企業中、**59企業**)。「関東以北」エリアの採用意向は61.2% (139企業中、**85企業**)と、予定している入学定員数を上回っている。

◇業種別

- 材料デザイン工学科卒業生の就職先として想定される「製造業」の採用意向は81.0% (105企業中、**85企業**)と、予定している入学定員数を上回っている。

◇従業員数別

- 従業員数が「100名未満」の企業の採用意向は48.5% (99企業中、**48企業**)、「100名～500名未満」は56.2% (178企業中、**100企業**)、「500名～1,000名未満」は66.7% (84企業中、**56企業**)、「1,000名以上」は69.1% (94企業中、**65企業**)と、規模が大きい企業ほど採用意向が高くなる様子。

企業対象 調査結果まとめ

◇採用したい学問系統別

- 採用したい学問系統が「工学系統」の企業の採用意向は、62.1% (311企業中、**193企業**)、「理学系統」は69.7% (119企業中、**83企業**)と、ともに予定している入学定員数を上回っている。

◇都市デザイン学部の特徴に対する魅力別

- 材料デザイン工学科の特徴である「特色E」に「魅力あり」と回答した企業の採用意向は、73.3% (330企業中、**242企業**)と、予定している入学定員数を3倍以上上回っている。

◇社会的必要性別【材料デザイン工学科】

- 材料デザイン工学科を「必要だと思う」と回答した企業の採用意向は、64.1% (410企業中、**263企業**)と、予定している入学定員数を3倍以上上回る採用意向がみられた。

材料デザイン工学科卒業生の毎年の採用想定人数

- 材料デザイン工学科卒業生を「採用したいと思う」と答えた271企業へ、材料デザイン工学科卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、毎年の採用想定人数の合計は334名程度であった。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

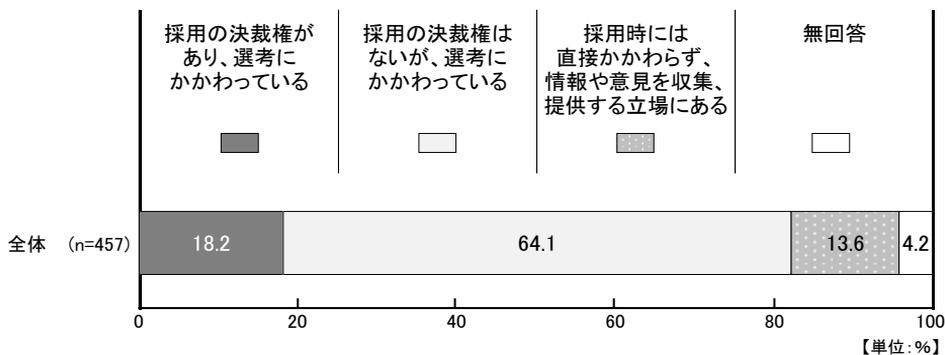
企業対象 調査結果



回答企業(回答者)の属性(人事採用への関与度/本社所在地)

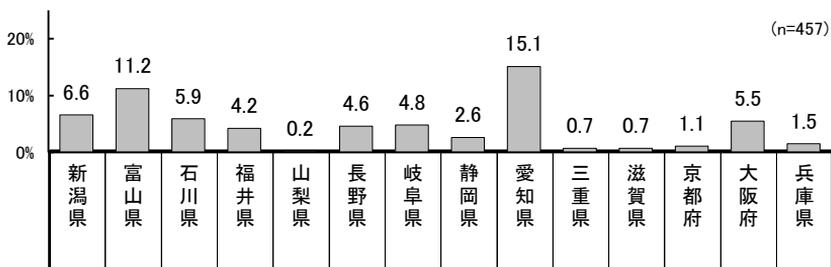
■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)



■本社所在地

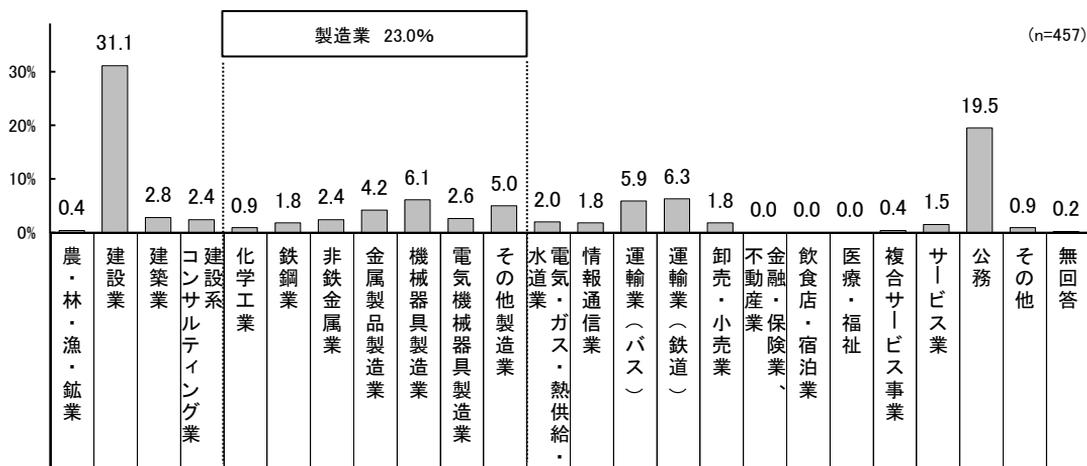
Q2. 貴社・貴機関の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。



回答企業(回答者)の属性(勤務先の主な業種／従業員数)

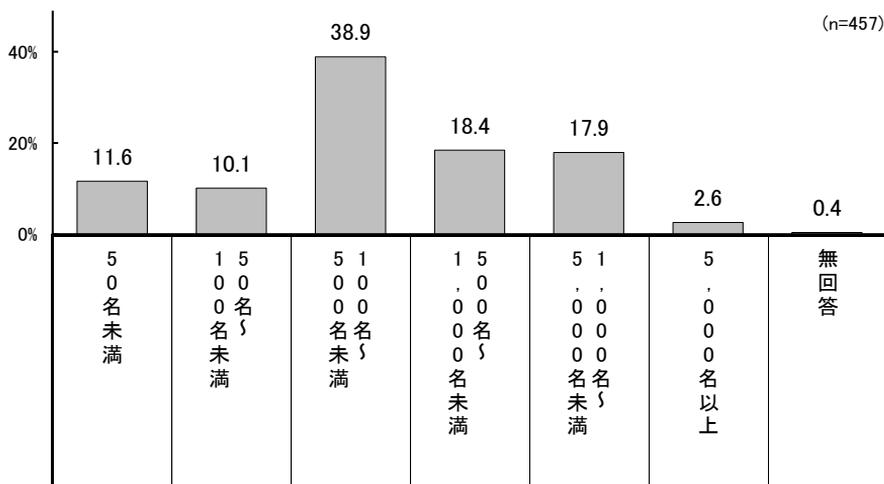
■勤務先の主な業種

Q3. 貴社・貴機関の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



■従業員数

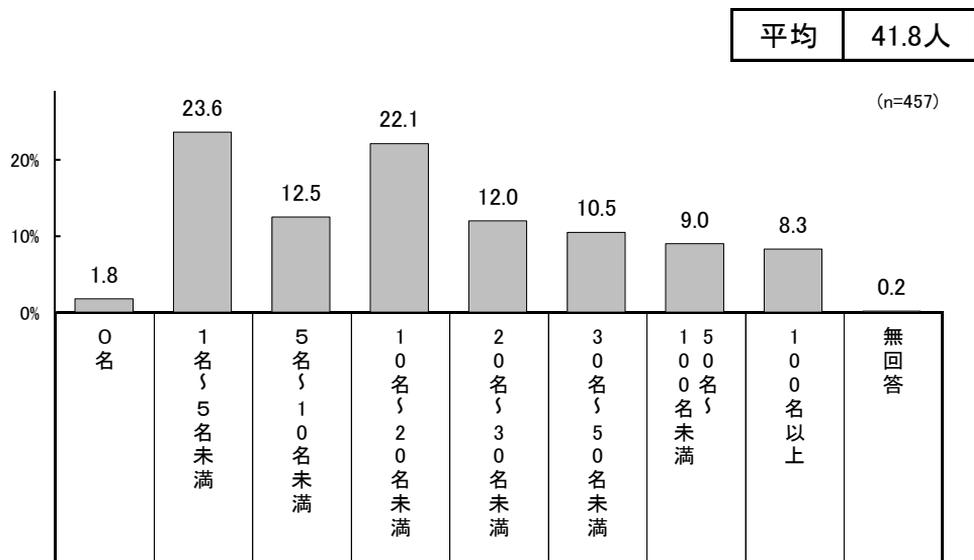
Q4. 貴社・貴機関の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



正規社員の平均採用人数／本年度の採用予定数

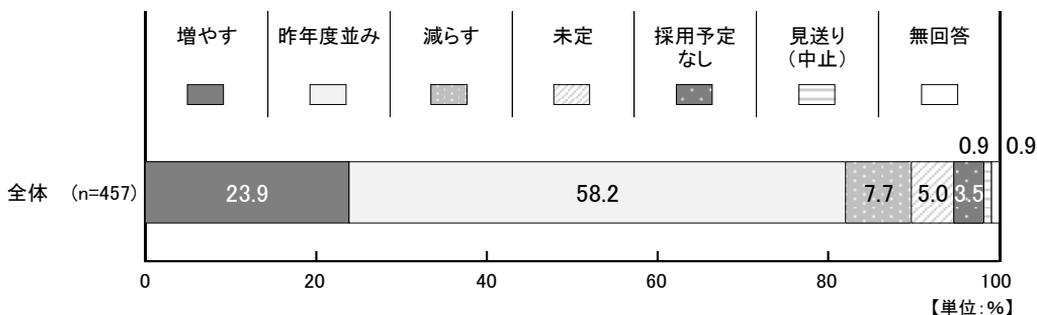
■正規社員の平均採用人数

Q5. 貴社・貴機関の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。



■本年度の採用予定数

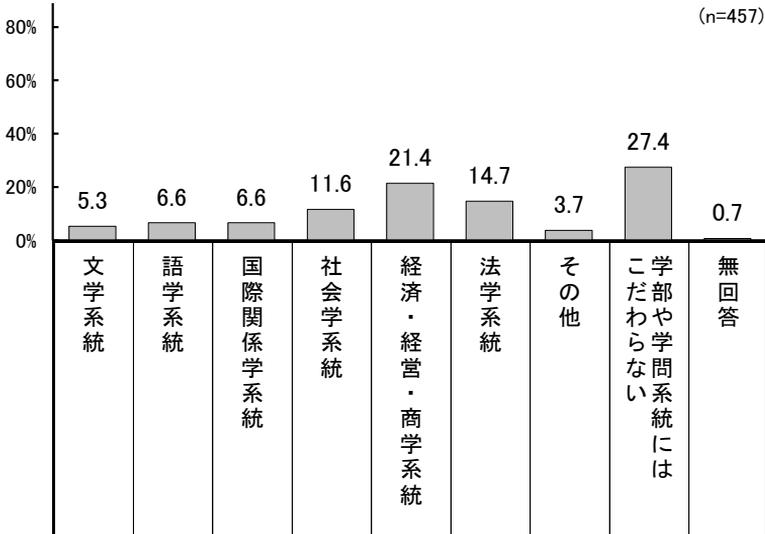
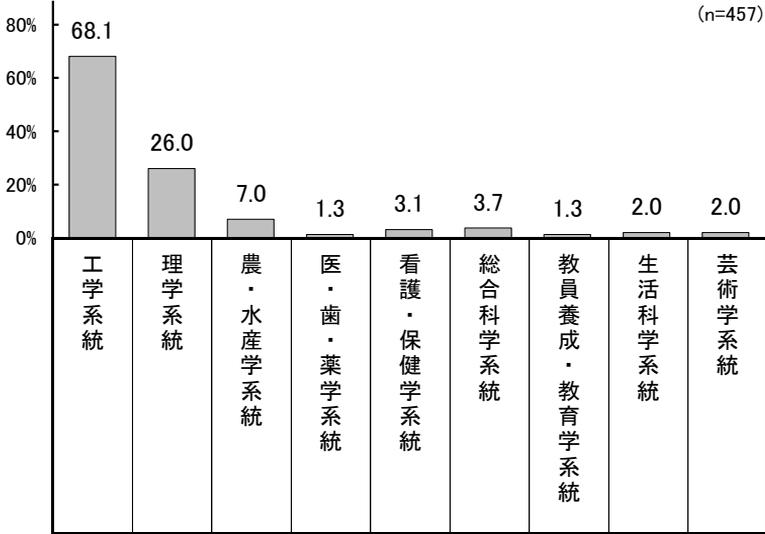
Q6. 貴社・貴機関の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)



採用したい学問系統

■採用したい学問系統

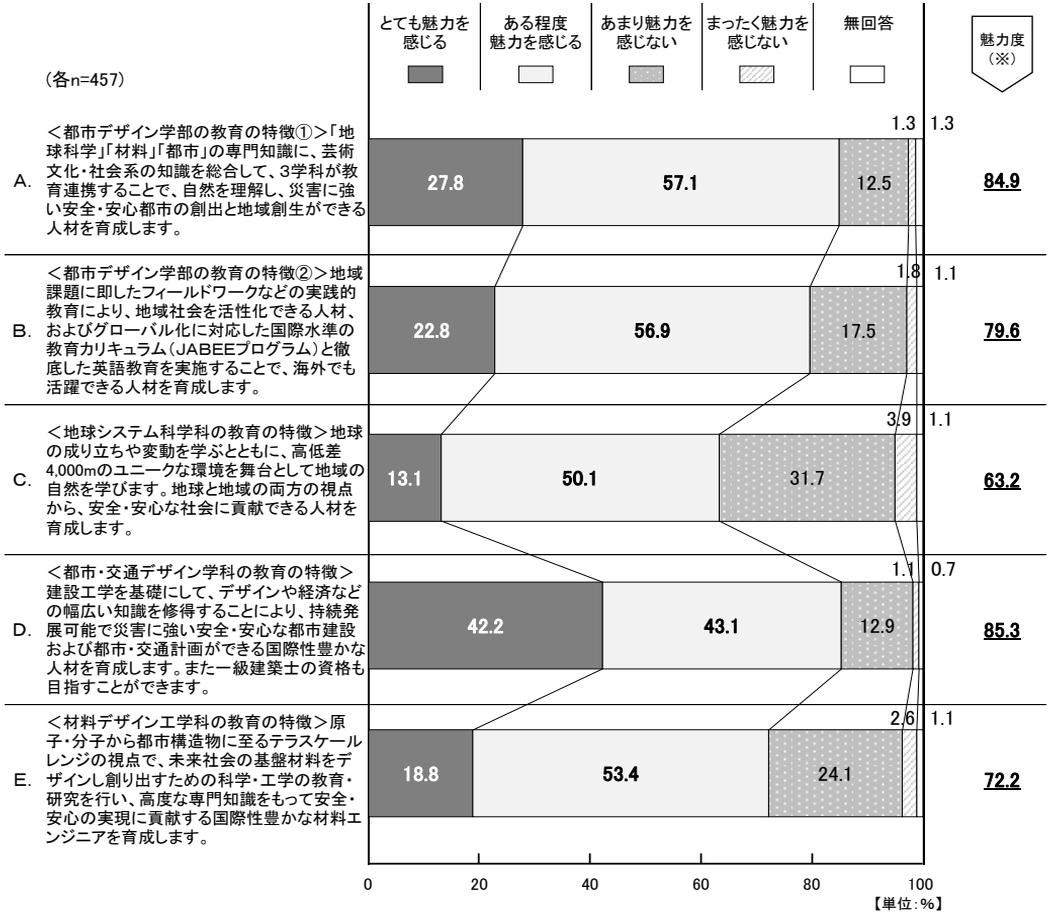
Q7. 貴社・貴機関では、どのような学問系統の学部を卒業した人物を積極的に採用したいとお考えですか。
(あてはまる番号すべてに○)



都市デザイン学部の特徴に対する魅力度

■都市デザイン学部の特徴に対する魅力度

Q8. 富山大学の「都市デザイン学部」(仮称、設置構想中)と、その各学科(すべて仮称、設置構想中)には、以下のような教育の特徴があります。貴社・貴機関(ご回答者)にとって、これらの特徴はそれぞれの程度魅力に感じますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



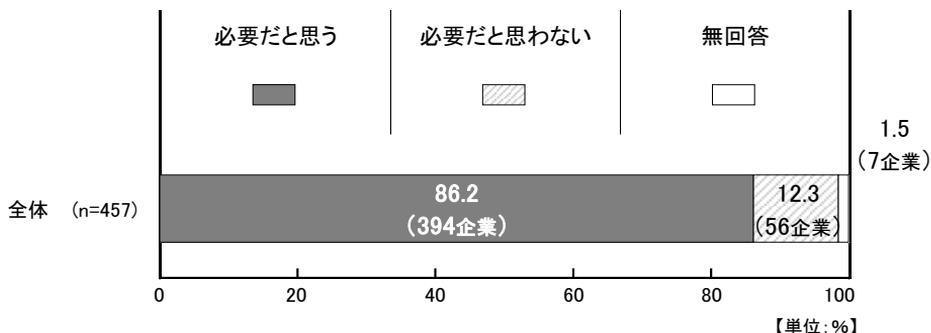
※魅力度=「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

地球システム科学科の社会的必要性／採用意向／ 毎年の採用想定人数

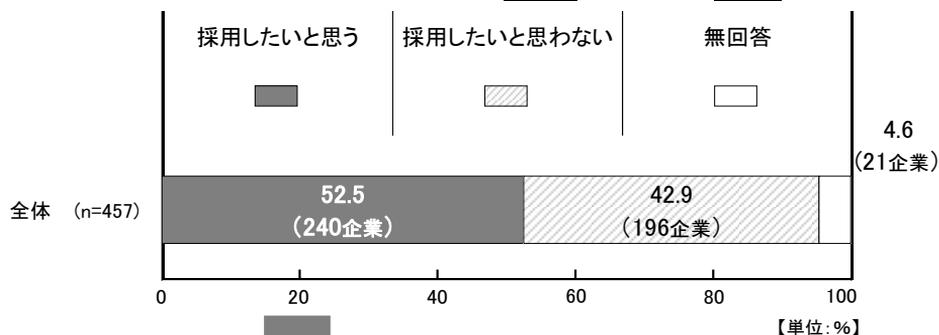
■地球システム科学科の社会的必要性

Q9. 貴社・貴機関(ご回答者)は、富山大学「都市デザイン学部」の各学科(すべて仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思いますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



■地球システム科学科卒業生に対する採用意向

Q10. 貴社・貴機関(ご回答者)では、富山大学「都市デザイン学部」の各学科(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思えますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた240企業のみ抽出

■地球システム科学科卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10でいずれかの学科の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

「1. 採用したいと思う」と回答された学科を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	人数は未確定	計 (※) 人数
		%							
全体	%	30.8	7.1	2.9	0.0	0.4	0.4	57.1	⇒ 281
	名	74	17	7	0	1	1	137	

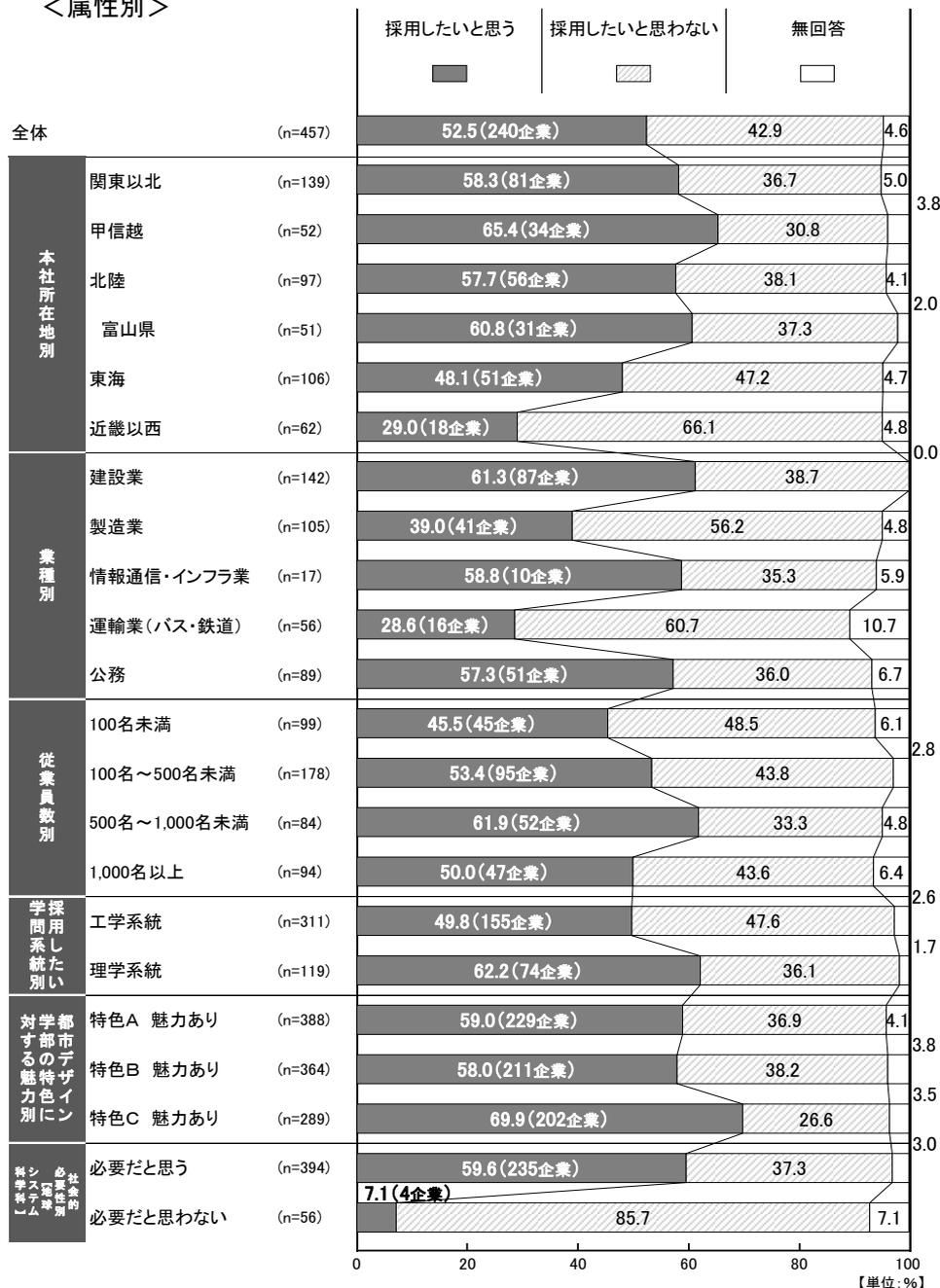
※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名 を代入し合計値を算出

地球システム科学科卒業生の採用意向<属性別>

■地球システム科学科卒業生の採用意向

Q10. 貴社・貴機関(ご回答者)では、富山大学「システムデザイン学部」の各学科(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

<属性別>

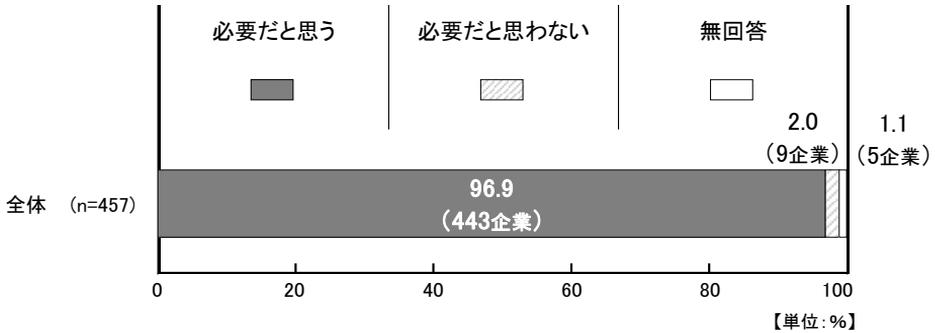


【単位:%】

都市・交通デザイン学科の社会的必要性／採用意向／ 毎年の採用想定人数

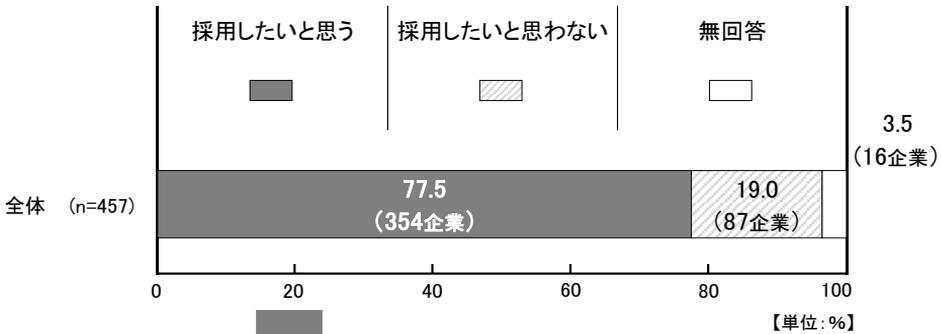
■都市・交通デザイン学科の社会的必要性

Q9. 貴社・貴機関(ご回答者)は、富山大学「都市デザイン学部」の各学科(すべて仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思いますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



■都市・交通デザイン学科卒業生に対する採用意向

Q10. 貴社・貴機関(ご回答者)では、富山大学「都市デザイン学部」の各学科(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思えますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた354企業のみ抽出

■都市・交通デザイン学科卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10でいずれかの学科の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

「1. 採用したいと思う」と回答された学科を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	人数は未確定	計 (※) 毎年の採用 想定人数・ 479
		%							
全体	354	26.0	13.0	5.9	0.0	1.7	0.6	51.4	⇒ 479
	名	92	46	21	0	6	2	182	

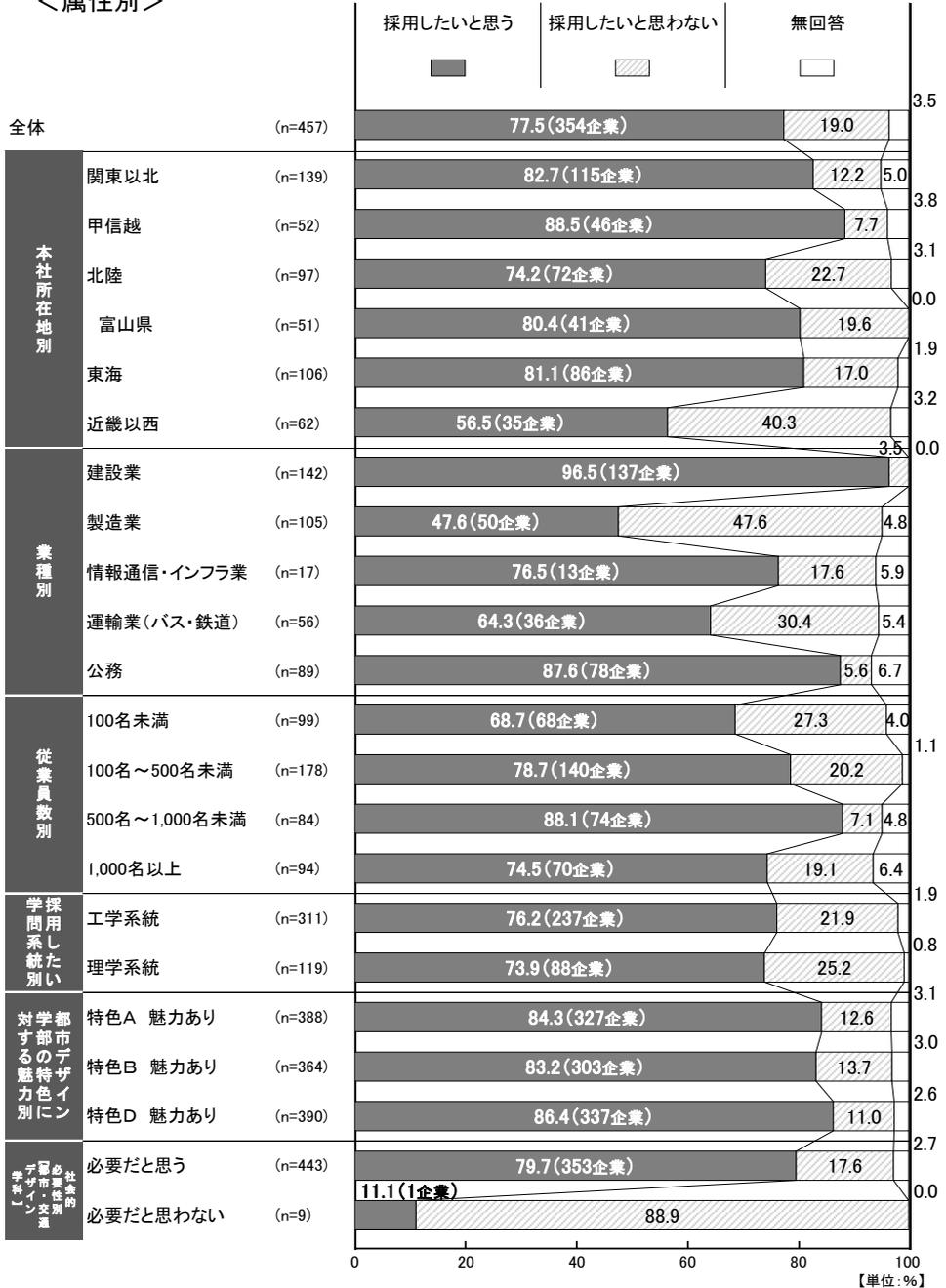
※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名 を代入し合計値を算出

都市・交通デザイン学科卒業生の採用意向<属性別>

■都市・交通デザイン学科卒業生の採用意向

Q10. 貴社・貴機関(ご回答者)では、富山大学「システムデザイン学部」の各学科(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

<属性別>

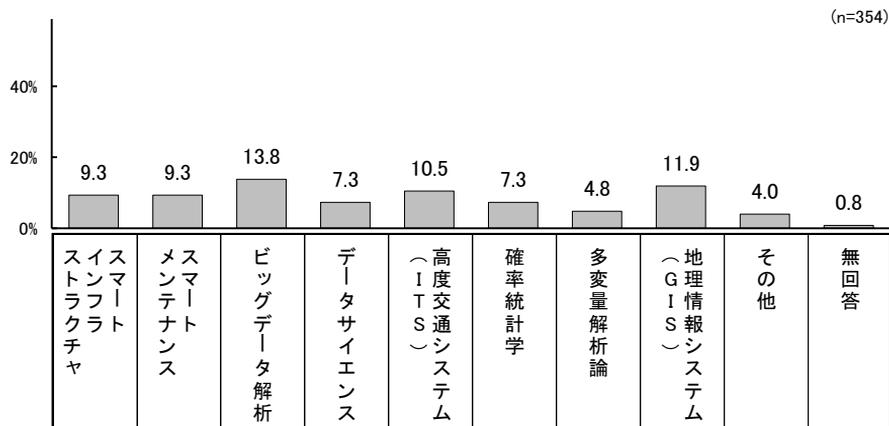
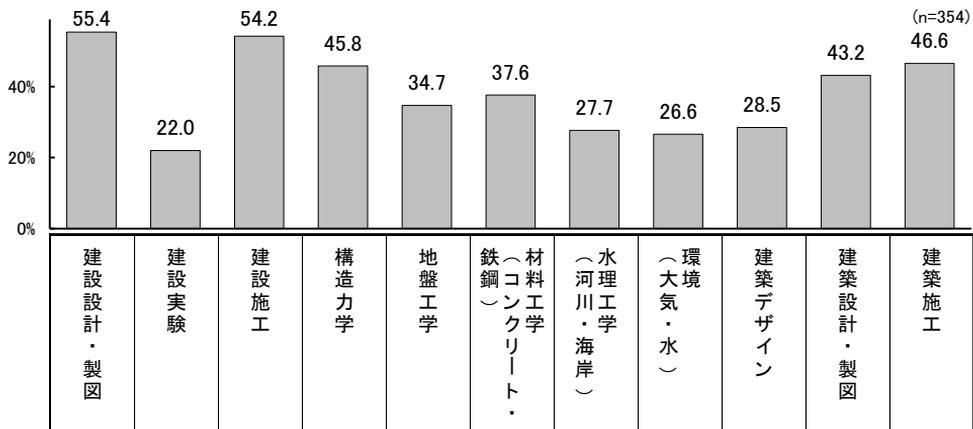
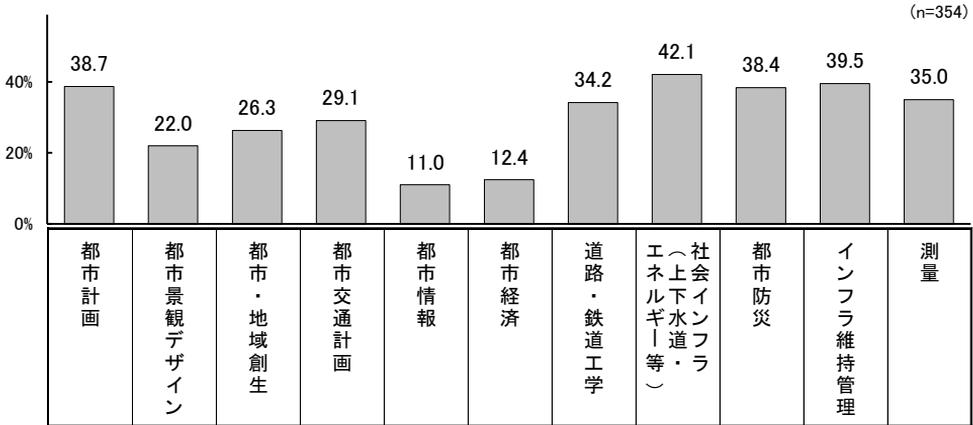


都市・交通デザイン学科の学生に履修して欲しい専門科目

■都市・交通デザイン学科の学生に履修して欲しい専門科目

Q12. 貴社・貴機関の求める「都市・交通デザイン学科」の学生に対して、大学時代に、特にどのような専門科目を履修して欲しいとお考えでしょうか。(あてはまる番号すべてに○)

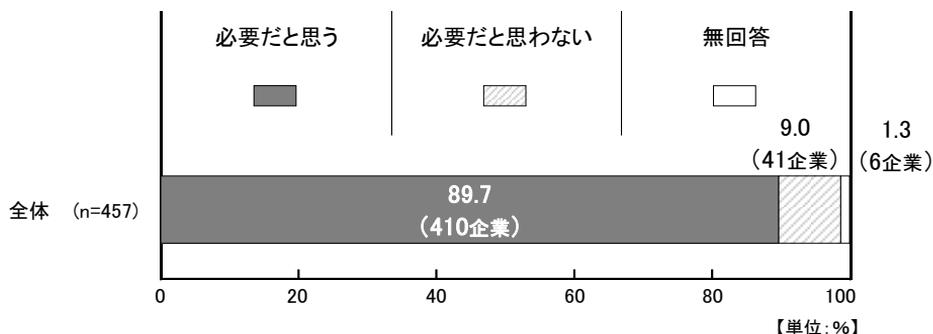
Q10で都市・交通デザイン学科卒業生を「採用したいと思う」と答えた354企業のみ抽出



材料デザイン工学科の社会的必要性／採用意向／ 毎年の採用想定人数

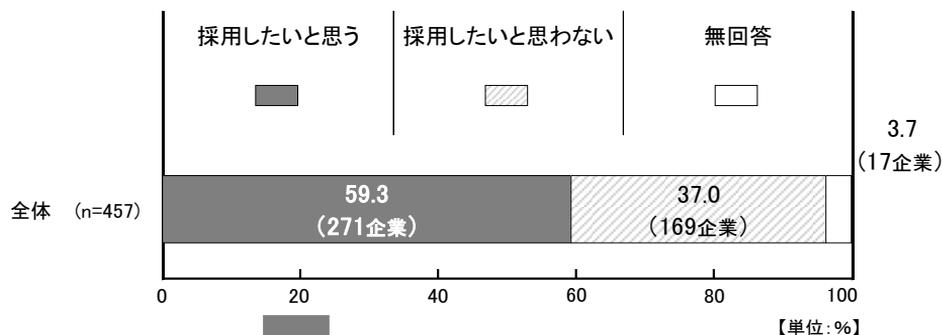
■材料デザイン工学科の社会的必要性

Q9. 貴社・貴機関(ご回答者)は、富山大学「都市デザイン学部」の各学科(すべて仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思いますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



■材料デザイン工学科卒業生に対する採用意向

Q10. 貴社・貴機関(ご回答者)では、富山大学「都市デザイン学部」の各学科(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思えますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた271企業のみ抽出

■材料デザイン工学科卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10でいずれかの学科の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

「1. 採用したいと思う」と回答された学科を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	人数は未確定	計 (※) 毎年の採用 想定人数・ 人数
		%							
全体	271	29.5	11.1	2.2	0.7	0.7	0.4	54.6	⇒ 334
	名	80	30	6	2	2	1	148	

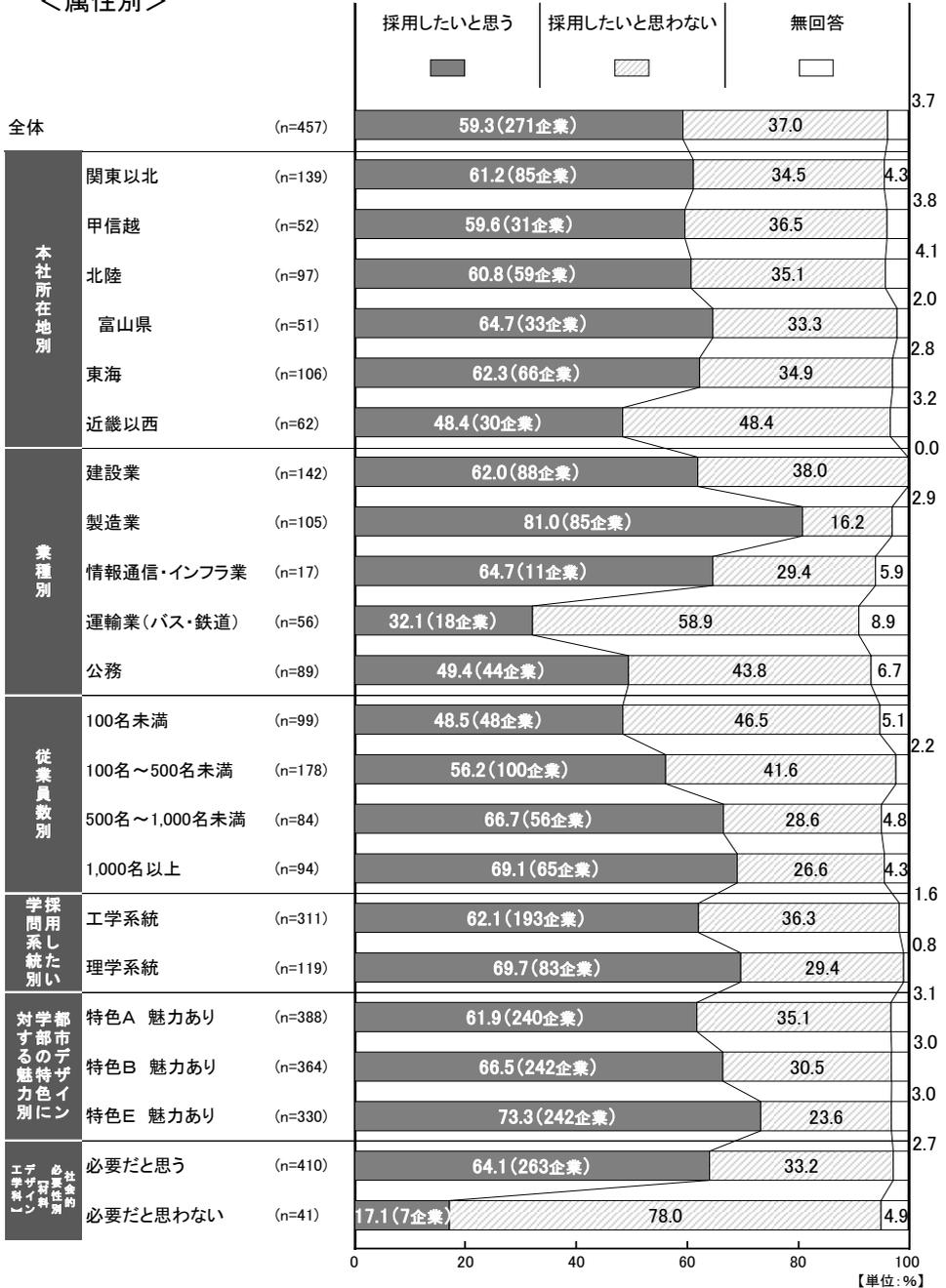
※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名 を代入し合計値を算出

材料デザイン工学科卒業生の採用意向<属性別>

■材料デザイン工学科卒業生の採用意向

Q10. 貴社・貴機関(ご回答者)では、富山大学「システムデザイン学部」の各学科(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

<属性別>



資料 5 企業対象 調査票

企業対象 調査票

『富山大学 都市デザイン学部』に関するアンケート

富山大学では2018年(平成30年)4月より、「都市デザイン学部」(仮称)を新設することを構想しています。このアンケートは、企業・機関の採用ご担当者の皆様から新学部や富山大学に対するご意見をお伺いし、より充実した大学や学部・学科にするための参考資料とさせていただきます。

このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、企業・機関や個人を特定することは一切ありません。

つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※このアンケートと同封した資料に記載されている「都市デザイン学部」(仮称、設置構想中)に関する事項はすべて予定であり、内容が変更になる可能性があります。

はじめに、貴社・貴機関についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
3. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある

Q2. 貴社・貴機関の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

本社(本部)所在地

都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴社・貴機関の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 農・林・漁・鉱業 | 13. 情報通信業 |
| 2. 建設業 | 14. 運輸業(バス) |
| 3. 建築業 | 15. 運輸業(鉄道) |
| 4. 建設系コンサルティング業 | 16. 卸売・小売業 |
| 5. 化学工業 | 17. 金融・保険業、不動産業 |
| 6. 鉄鋼業 | 18. 飲食店・宿泊業 |
| 7. 非鉄金属業 | 19. 医療・福祉 |
| 8. 金属製品製造業 | 20. 複合サービス事業 |
| 9. 機械器具製造業 | 21. サービス業 |
| 10. 電気機械器具製造業 | 22. 公務 |
| 11. その他製造業() | 23. その他 |
| 12. 電気・ガス・熱供給・水道業 | () |

Q4. 貴社・貴機関の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|---------------|------------------|--------------------|
| 1. 50名未満 | 3. 100名～500名未満 | 5. 1,000名～5,000名未満 |
| 2. 50名～100名未満 | 4. 500名～1,000名未満 | 6. 5,000名以上 |

Q5. 貴社・貴機関の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。

過去3か年 平均

名程度

次のページへ続く→

企業対象 調査票

Q6. 貴社・貴機関の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。

(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|----------|--------|------------|
| 1. 増やす | 3. 減らす | 5. 採用予定なし |
| 2. 昨年度並み | 4. 未定 | 6. 見送り(中止) |

Q7. 貴社・貴機関では、どのような学問系統の学部を卒業した人物を積極的に採用したいとお考えですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|-------------|---------------|---------------------|
| 1. 工学系統 | 7. 教員養成・教育学系統 | 13. 社会学系統 |
| 2. 理学系統 | 8. 生活科学系統 | 14. 経済・経営・商学系統 |
| 3. 農・水産学系統 | 9. 芸術学系統 | 15. 法学系統 |
| 4. 医・歯・薬学系統 | 10. 文学系統 | 16. その他() |
| 5. 看護・保健学系統 | 11. 語学系統 | 17. 学部や学問系統にはこだわらない |
| 6. 総合科学系統 | 12. 国際関係学系統 | |

富山大学では、2018年(平成30年)4月に、
新しく「都市デザイン学部」(仮称)を設置することを構想しています。

※ここからは、アンケートに同封している資料をご覧くださいの上でお答えください※

Q8. 富山大学の「都市デザイン学部」(仮称、設置構想中)と、

その各学科(すべて仮称、設置構想中)には、以下のような教育の特徴があります。

貴社・貴機関(ご回答者)にとって、これらの特徴はそれぞれどの程度魅力に感じますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
例.	○○である。	→ 1	②	3	4
A.	<都市デザイン学部の教育の特徴①> 「地球科学」「材料」「都市」の専門知識に、芸術文化・社会系の知識を総合して、3学科が教育連携することで、自然を理解し、災害に強い安全・安心都市の創出と地域創生ができる人材を育成します。	→ 1	2	3	4
B.	<都市デザイン学部の教育の特徴②> 地域課題に即したフィールドワークなどの実践的教育により、地域社会を活性化できる人材、およびグローバル化に対応した国際水準の教育カリキュラム(JABEEプログラム)と徹底した英語教育を実施することで、海外でも活躍できる人材を育成します。	→ 1	2	3	4
C.	<地球システム科学科の教育の特徴> 地球の成り立ちや変動を学ぶとともに、高低差4,000mのユニークな環境を舞台として地域の自然を学びます。地球と地域の両方の視点から、安全・安心な社会に貢献できる人材を育成します。	→ 1	2	3	4
D.	<都市・交通デザイン学科の教育の特徴> 建設工学を基礎にして、デザインや経済などの幅広い知識を修得することにより、持続発展可能で災害に強い安全・安心な都市建設および都市・交通計画ができる国際性豊かな人材を育成します。また一級建築士の資格も目指すことができます。	→ 1	2	3	4
E.	<材料デザイン工学科の教育の特徴> 原子・分子から都市構造物に至るアラスケールレンジの視点で、未来社会の基盤材料をデザインし創り出すための科学・工学の教育・研究を行い、高度な専門知識をもって安全・安心の実現に貢献する国際性豊かな材料エンジニアを育成します。	→ 1	2	3	4

企業対象 調査票

Q9. 貴社・貴機関(ご回答者)は、富山大学「都市デザイン学部」の各学科(すべて仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思われませんか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

			1.必要だと思う	2.必要だと思わない
都市デザイン学部	地球システム科学科	→	1	2
	都市・交通デザイン学科	→	1	2
	材料デザイン工学科	→	1	2

Q10. 貴社・貴機関(ご回答者)では、富山大学「都市デザイン学部」の各学科(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

			1.採用したいと思う	2.採用したいと思わない
都市デザイン学部	地球システム科学科	→	1	2
	都市・交通デザイン学科	→	1	2
	材料デザイン工学科	→	1	2

Q11. Q10でいずれかの学科の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

「1. 採用したいと思う」と回答された学科を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。

現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		1名	2名	3名	4名	5名 ～9名	10名 以上	人数は 未確定
都市デザイン学部	地球システム科学科	1	2	3	4	5	6	7
	都市・交通デザイン学科	1	2	3	4	5	6	7
	材料デザイン工学科	1	2	3	4	5	6	7

次のページへ続く→

企業対象 調査票

※富山大学「都市デザイン学部」の「都市・交通デザイン学科」(仮称、設置構想中)についてお伺いいたします。

Q12. 貴社・貴機関の求める「都市・交通デザイン学科」の学生に対して、
大学時代に、特にどのような専門科目を履修して欲しいとお考えでしょうか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|------------------------|---------------------|--------------------|
| 1. 都市計画 | 12. 建設設計・製図 | 23. スマートインフラストラクチャ |
| 2. 都市景観デザイン | 13. 建設実験 | 24. スマートメンテナンス |
| 3. 都市・地域創生 | 14. 建設施工 | 25. ビッグデータ解析 |
| 4. 都市交通計画 | 15. 構造力学 | 26. データサイエンス |
| 5. 都市情報 | 16. 地盤工学 | 27. 高度交通システム(ITS) |
| 6. 都市経済 | 17. 材料工学(コンクリート・鉄鋼) | 28. 確率統計学 |
| 7. 道路・鉄道工学 | 18. 水理工学(河川・海岸) | 29. 多変量解析論 |
| 8. 社会インフラ(上下水道・エネルギー等) | 19. 環境(大気・水) | 30. 地理情報システム(GIS) |
| 9. 都市防災 | 20. 建築デザイン | 31. その他() |
| 10. インフラ維持管理 | 21. 建築設計・製図 | |
| 11. 測量 | 22. 建築施工 | |

Q13. 富山大学「都市デザイン学部」やその各学科(すべて仮称、設置構想中)について、
もっと知りたいことや期待されること、ご意見・ご要望などありましたら、
どのようなことでもかまいませんので、ご自由にお書きください。

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

資料 6 要望書

知 政 第 8 3 1 号
平成 2 9 年 3 月 2 2 日

国立大学法人富山大学
学長 遠藤 俊郎 殿

富山県知事 石井 隆一



都市デザイン学部の設置について（要望）

日頃から、富山県政の推進に格別のご支援、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

我が国においては、人口急減・超高齢化という大きな課題に直面していることから、地方の人口減少と地域経済の縮小に歯止めをかけ、各地域がそれぞれの特徴を活かした自立的で持続的な社会を創生するため、意欲と能力のある若者が地域において活躍できる魅力ある就業先や雇用の創出、若者の地元定着等が求められています。

このため本県では、地方創生を推進するため、平成 27 年 10 月に策定した「とやま未来創生戦略」に基づき、人口減少を克服し、本県の自然、文化、産業など、各地域の特色・強みを活かした持続可能で活力ある未来の創造に向けて、全力で取り組んでいるところです。また、昨年 9 月に策定した、概ね 30 年先を見据えた「富山県経済・文化長期ビジョン」もふまえて、新たな総合計画の策定に向けて取り組んでいるところです。

このような中、貴大学において構想発表された「都市デザイン学部」の設置が、自然災害問題、都市交通及び社会基盤材料の開発と、土木・建築系人材の育成を目指すものであり、かつ、本県の諸課題を総合的、俯瞰的にとらえることができる教育・研究であることから、本県の活性化、地方創生に大きく寄与するものと期待されます。

貴大学におかれては、県内唯一の国立大学として、今回の新学部構想を早期に実現されますよう、強く要望いたします。

企 第 7 3 号

平成29年2月28日

国立大学法人 富山大学
学長 遠藤 俊郎 様

富山市長 森 雅 志



都市デザイン学部の設置に関する要望について

日頃から、市政の推進に深いご理解とご協力をいただきお礼申し上げます。

さて、本市では、本格的な人口減少及び少子・超高齢社会の進行や、CO₂排出量の増大など都市を取り巻く様々な課題への対応として「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」を政策の基本に置いて各種施策に取り組んでおります。

こうした中、貴大学が目指しておられます「都市デザイン学部」の設置は、本市が今後もコンパクトシティ政策を進めていくうえで、重要な意義を持つものであるとともに、地域をけん引する人材が地元で育成、輩出されることは、本市の発展に大きく寄与するものと期待しております。

また、本市は貴大学と相互連携協力に関する包括協定を締結し、様々な連携事業に取り組んでまいりました。本市といたしましては、今後も地域社会の課題や方向性を共有し、地方創生の実現に向けてともに取り組みを進めていくためにも、貴大学において「都市デザイン学部」が早期開設されますことを切に要望いたします。

事務担当

企画管理部 企画調整課

前田、岸

TEL076-443-2010



国北整富総第120号
 国北整黒総第44号
 国北整立総第62号
 国北整利総第26号
 国北整伏富港総第28号
 平成29年2月28日

富山大学長 遠藤 俊郎 殿

国土交通省北陸地方整備局

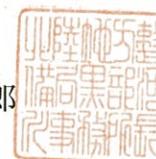
富山河川国道事務所

所長 福濱 方哉



黒部河川事務所

所長 藤田 士郎



立山砂防事務所

所長 大坂 剛



利賀ダム工事事務所

所長 黒田 勇一



伏木富山港湾事務所

所長 森 弘 継



都市デザイン学部の設置について

富山大学におかれましては地域に根差した大学として、様々な分野にわたる優れた教育・研究活動を通じ、地方創生に大きく貢献してこられました。

こうした中、平成30年度を目指して、自然科学と科学技術を基盤とし、社会科学要素を加味した「自然災害の予測やリスク管理、社会基盤材料の開発、都市と交通の創造」に関わる特色ある国際水準の教育・研究を行う都市デザイ

ン学部の設置を準備されていると伺っております。

我々、国土交通省北陸地方整備局の5つの事務所は、主に富山県を対象地域として河川事業、ダム事業、砂防事業、海岸事業、道路事業、港湾事業を実施しており、これらの事業の円滑な実施には、自然科学の観点、社会科学の観点から課題を解決していく必要があります。

つきましては、課題解決へのご支援をいただきたく、本県唯一の国立大学法人である貴学への都市デザイン学部の設置を早期に実現され、研究機関、人材育成機関として、これまで以上に地域に貢献いただけますよう特段のご配慮をお願い申し上げます。

平成29年2月20日

国立大学法人 富山大学
学長 遠藤俊郎 殿

一般社団法人富山県測量設計業協会
会長 榮知之



都市デザイン学部の設置について（要望）

建設産業は、我が国における社会インフラの整備・維持管理を担い、地域の経済・雇用を支える基幹産業の一つであると同時に、社会の安全・安心の確保を図る上で重要な役割を担っています。

測量設計業はこの建設産業の一翼として、建設生産プロセスの最上流部の調査・設計から、下流部の維持管理までの幅広い範囲で技術サービスを提供し、社会インフラの品質の確保において、重要な役割を担っています。

現在、国土交通省では、建設産業の抜本的な生産性向上に向け、ICTの全面的活用により、測量・調査・設計から施工・検査、さらには維持管理・更新までの全プロセスで最適化を目指す「i-Construction」の取組みが進められていることから、測量設計業においても、データやICTの取扱いにも長けた測量設計業に係る総合的な能力を有した人材の確保が必要とされております。

富山大学におかれましては、平成30年度に設置を目指している「都市デザイン学部」は、土木技術を基盤とした、幅広い知識に基づいた多角的なアプローチによって、災害に強い安全・安心な都市建設と持続的発展可能な都市・交通の基盤をデザインできる人材を育成されることは、地域産業の活性化に貴重な人材として期待するところであります。設置が実現した暁には、富山県測量設計業協会としましても、人材育成のために必要な連携・協力を行っていきたいと考えています。

貴大学におかれましては、計画どおりに都市デザイン学部が設置されますことを、強く要望いたします。

平成 29 年 3 月 3 日

富山大学長 殿

一般社団法人富山県建設業協会
会 長 近 藤 駿 明



建設系学科を擁する学部の設置について（要望）

建設業界は、激甚化する自然災害に対する「命を守る公共事業の担い手」、インフラの老朽化対策における「地域のまち医者」など、人口減少の時代にあっても地方創生の担い手として、その果たすべき役割はますます重要性を増しつつあり、技術者、技能者の高齢化が進む中、将来にわたって建設業の担い手を継続的に確保することが強く求められております。

貴大学におかれましては、平成 30 年度を目途に土木技術者などの建設系人材を育成する学科を擁する学部を設置する計画が進められていると伺っております。

この計画が実現すれば、地域の建設業の人材確保・育成に向けた大きな足掛かりになると期待しており、当協会としましても、実現の暁には、必要な連携・協力を行って参りますので、貴大学において建設系学科を擁する学部設置を強く要望いたします。